
熊本県立美術館年報 ■平成29年度

目
次
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

はじめに

熊本県立美術館の運営につきまして、日頃からご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成29年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

昭和51年(1976年)3月4日に熊本県の芸術文化振興の拠点として開館した当館は、平成28年(2016年)3月に開館40周年を迎え、平成27年度から平成29年度までを周年事業期間と位置づけて40周年記念事業を展開いたしました。

開館40周年を迎えて1か月が過ぎた平成28年4月、一連の熊本地震が発生。当館も美術品等に少なからず被害が出ましたが、幸い美術館の建屋に大きな被害はなく、地震から1ヶ月半後には美術館を再開し40周年事業を引き続き展開することができました。その一方で被災美術品の修復や施設の修繕、さらには地震で被災した熊本県内の文化財や美術品のレスキュー事業にも取り組んできました。

当館の基幹をなす収蔵コレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の両分野で「特集展示」を開催しました。細川コレクションでは、第Ⅰ期「震災と復興のメモリー@熊本」、第Ⅱ期「暮らしを彩る調度」、第Ⅲ期「源氏物語と王朝文化の美」。美術館コレクションでは、「今西コレクションの名品」、「夜から朝へ：世紀末のロンドンとパリ」などで、収蔵する名品を紹介しました。とくに「震災と復興のメモリー@熊本」展は熊本地震一周年にあたり、熊本の震災史を振り返る画期的なものとなりました。

特別展では、地震により中断を余儀なくされた40周年記念「大熊本県立美術館展」を再開した「同展リターンズ」、福岡市美術館と北九州市立美術館の所蔵名品を同時に公開した「夢の美術館一めぐりあう名画たち」、「土佐の龍馬、肥後の小楠—龍馬記念館所蔵品と小楠の新出書簡」、「イギリス国立ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ—英国の至宝」、「京都細見美術館 伊藤若冲と京の美術」、「堀文子白寿展」の6本の特別展を開催することができました。いずれの展覧会も、開館40周年事業にふさわしい充実した企画内容となりました。

美術品の収集活動においては、熊本ゆかりの日本画家・堅山南風作で、長らく所在不明だった《争魚》を購入したのをはじめ、重要文化財《巴螺細鞍》、御用絵師・矢野吉重、伊藤若冲、福田太華などの作品をご寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図ることができました。

教育普及活動では、11校に及ぶ展開を行ったスクールミュージアムをはじめ、特別展に関する記念講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館、「特別イベント ダンス観戦」、「公開講座 学芸員の深イイ話」、実技講座などを幅広く実施することができました。調査研究活動としては、平成20年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成29年度は大名調度類の調査を進めています。

平成27年度から段階的に実施してきた改修工事では、老朽化した収蔵庫空調設備、1F会場・2F会場(第3室)の照明設備、講堂(文化交流室へ名称変更)の視聴覚設備、正面玄関受付施設等を大規模に更新し、本館施設の保全と長寿命化を実施することができました。

開館40周年を契機に、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」として社会と広く繋がり、さらに多彩な魅力ある美術館をめざしてまいります。また、熊本地震の災禍を通じて浮き彫りになった美術館としての課題を共有し、震災の教訓を語りつくすことも、私たちの重大な責務であることを忘れずに美術館運営に取り組んでいく所存です。皆様方のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成30年9月 吉日

熊本県立美術館長 田崎 龍一

目 次

| | |
|-------------------|----|
| I 沿 革 | 1 |
| II 施設・設備 | |
| ■施設・設備の概要 | 5 |
| III 事業の概要 | |
| ■平成 29 年度年間スケジュール | 9 |
| ■展覧会記録 | 11 |
| ■浜田知明室 | 26 |
| ■装飾古墳室 | 27 |
| ■教育普及 | 28 |
| IV 資 料 | |
| ■観覧者状況及び事業報告 | 35 |
| ■収蔵品の概要 | 43 |
| ■購入・寄贈図書目録 | 49 |
| ■委員会等名簿 | 50 |
| ■その他 | 52 |

I 沿革

| | |
|-------------|---|
| 昭和43年 3月25日 | 県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決 |
| ♪ 43年 5月10日 | 「熊本県文化資料調査実施要領」制定 |
| ♪ 44年 3月 3日 | 松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄附 |
| ♪ 44年 7月 1日 | 「熊本県立美術館基金条例」公布 1億円の積立 |
| ♪ | 県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決 |
| ♪ 44年 8月 6日 | 「熊本県立美術館建設促進協力会」発足 |
| ♪ 45年 5月10日 | 「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成 |
| ♪ 45年 6月 2日 | 「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定 |
| ♪ 45年12月 8日 | 建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出 |
| ♪ 46年 3月20日 | 「熊本県立美術館建設委員会」発足 |
| ♪ | 「熊本県立美術館建設準備室」設置 |
| ♪ 46年 5月17日 | 美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定 |
| ♪ 46年 9月20日 | 建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出 |
| ♪ 46年 9月30日 | 「装飾古墳調査報告書」作成 |
| ♪ 47年 4月 1日 | 前川国男建築設計事務所に美術館設計委託 |
| ♪ 47年 8月31日 | 熊本城二の丸史跡調査完了 |
| ♪ 47年10月31日 | 美術館基本設計完了 |
| ♪ 48年 3月31日 | 美術館実施設計完了 |
| ♪ | 美術館建設敷地の樹木調査完了 |
| ♪ 48年 9月17日 | 装飾古墳レプリカ制作委託 |
| ♪ 48年12月 8日 | チブサン古墳石屋形模型製作委託 |
| ♪ 49年 5月17日 | 美術館建設着工 |
| ♪ 50年 5月24日 | 美術館定礎 |
| ♪ 50年 7月 1日 | 「熊本県立美術館条例」公布 |
| ♪ 50年 9月14日 | 美術館本体工事完了 |
| ♪ 51年 1月31日 | 美術館外構工事完了 |
| ♪ 51年 2月24日 | 美術館工事落成 |
| ♪ 51年 3月 4日 | 美術館開館 |
| ♪ 52年 1月24日 | 美術館別館（多目的室棟）着工 |
| ♪ 52年 9月10日 | 別館（多目的室棟）竣工 |
| ♪ 54年 6月28日 | 「熊本県美術品取得基金条例」公布 |
| ♪ 60年 4月 1日 | 美術館条例（観覧料）の改正 |
| ♪ 61年 3月25日 | 美術館屋外排水設備改修工事完了 |
| ♪ 61年 6月 4日 | 第 35 回全国美術館会議総会開催 |
| 平成元年 4月 1日 | 美術館条例（観覧料等）の改正 |

| | |
|-------------|---|
| 平成 2年 4月 1日 | 美術館条例（観覧料等）の改正 |
| ♪ 3年10月 1日 | 美術館分館着工 |
| ♪ 4年 5月 | 野田壁画室工事完了 |
| ♪ 4年10月 1日 | 美術館条例（使用料）の改正 |
| ♪ 4年10月 9日 | 美術館分館工事完了 |
| ♪ 4年10月20日 | 美術館分館開館 |
| ♪ 4年12月19日 | 収蔵庫増設工事着工 |
| ♪ 4年12月27日 | やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工 |
| ♪ 5年 4月 1日 | 美術館条例（観覧料）の改正 |
| ♪ 5年10月15日 | やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了 |
| ♪ 6年 1月 3日 | 収蔵庫増設工事完了 |
| ♪ 8年 3月 | ハイビジョンミュージアムシステム設置 |
| ♪ 8年 4月 1日 | 美術館条例（使用料）の改正 |
| ♪ 8年11月 | 美術館本館空調設備、展示室改修工事着工 |
| ♪ 9年 8月 | 美術館本館空調設備、展示室改修工事完了 |
| ♪ 10年 4月 1日 | 美術館条例（観覧料）の改正 |
| ♪ 11年 4月 1日 | 美術館条例（使用料）の改正 |
| ♪ 11年 6月28日 | 障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免） |
| ♪ 11年 8月18日 | 美術館利用規則（休館日等）の改正 |
| ♪ 11年10月23日 | 行幸啓 |
| ♪ 12年 6月21日 | 「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置 |
| ♪ 13年 3月 | 開館 25 周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催 |
| ♪ 13年 4月 1日 | 美術館条例（使用料）の改正 |
| ♪ 14年 1月16日 | 「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議 |
| ♪ 14年 1月31日 | 館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと 21 ～開館 25 年 100 の提案～」 |
| ♪ 14年 2月 | 美術館本館屋上防水工事着工 |
| ♪ 14年 3月 | 美術館本館屋上防水工事完了 |
| ♪ 16年 2月 2日 | 美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工 |
| ♪ 16年 3月17日 | 美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了 |
| ♪ 17年12月 8日 | 非常用自家発電機更新工事着工 |
| ♪ 18年 3月17日 | 非常用自家発電機更新工事完了 |
| ♪ 18年 8月 | 開館 30 周年記念「エコール・ド・パリ展」開催 |
| ♪ 18年10月 | 開館 30 周年記念「熊本県立美術館名品展－精華－」開催 |
| ♪ 18年11月 1日 | 美術館利用規則（開館時間）の改正 |
| ♪ 18年11月10日 | 美術館本館 第 6 回 JIA（日本建築家協会）25 年賞大賞受賞 |
| ♪ 19年 1月 5日 | 美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事着工 |

| | |
|-------------|---|
| 平成19年 1月 8日 | 美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事完了 |
| ♪ 19年 1月30日 | 美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事着工 |
| ♪ 19年 3月30日 | 美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事完了 |
| ♪ 19年 6月25日 | 永青文庫展示室整備建築工事着工 |
| ♪ 19年10月 3日 | 美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.5 施行） |
| ♪ 19年11月26日 | 美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工 |
| ♪ 19年12月18日 | 美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工 |
| ♪ 20年 2月29日 | 永青文庫展示室整備建築工事完了 |
| ♪ 20年 3月14日 | 美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了 |
| ♪ 20年 3月17日 | 美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了 |
| ♪ 20年 4月25日 | 細川コレクション永青文庫展示室開館 |
| ♪ | 開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第1部、第2部：4.25～12.24） |
| ♪ 21年 9月17日 | 美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工 |
| ♪ 21年10月 9日 | 美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22.4.1 施行） |
| ♪ 21年10月24日 | 美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了 |
| ♪ 21年12月24日 | 美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工 |
| ♪ 21年12月30日 | 美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了 |
| ♪ 22年 4月 1日 | 美術館分館 指定管理者制度導入 |
| ♪ 22年 4月28日 | 美術館条例（観覧料の減免）の改正 |
| ♪ 22年12月22日 | 美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23.4.1 施行） |
| ♪ 23年 8月18日 | 美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工 |
| ♪ 24年 2月28日 | 美術館トイレ改修工事着工 |
| ♪ 24年 3月 6日 | 美術館条例（協議会）の改正（H24.4.1 施行） |
| ♪ 24年 3月28日 | 美術館トイレ改修工事完了 |
| ♪ 24年 3月30日 | 美術館永青文庫展示室拡充改修工事完了 |
| ♪ 24年10月31日 | 美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工 |
| ♪ 25年 1月15日 | 美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了 |
| ♪ 25年 3月15日 | 美術館条例施行規則（使用料の返還）の改正（H25.4.1 施行） |
| ♪ 25年12月27日 | 美術館本館事務室屋上改修工事着工 |
| ♪ 26年 3月14日 | 美術館本館事務室屋上改修工事完了 |
| ♪ 26年 3月24日 | 美術館条例（観覧料、使用料）改正（H26.4.1 施行） |
| ♪ 26年 5月21日 | 美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工 |
| ♪ 26年 7月 9日 | 美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了 |
| ♪ 27年 1月13日 | 美術館本館エレベータ改修工事着工 |
| ♪ 27年 3月 9日 | 美術館本館エレベータ改修工事完了 |
| ♪ 27年10月29日 | 美術館本館大規模改修工事（I期）着工 |
| ♪ 28年 3月18日 | 美術館本館大規模改修工事（I期）完了 |
| ♪ 28年 4月 8日 | 開館 40 周年記念「大熊本県立美術館展」開催 |

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 平成28年 4月14日 | 平成 28 年熊本地震（前震）発生 |
| ♪ 28年 4月15日 | 美術品等の保護と施設設備の安全確認のため、当面臨時休館とする |
| ♪ 28年 4月16日 | 平成 28 年熊本地震（本震）発生 |
| ♪ 28年 5月28日 | 安全確認の目処がつき、再開館へ |
| ♪ 28年 7月16日 | 開館 40 周年記念「ランス美術館展」開催 |
| ♪ 28年 8月30日 | 開館 40 周年記念「雪舟流と狩野派展」開催 |
| ♪ 28年10月11日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）着工 |
| ♪ 28年10月31日 | 熊本地震により被災した美術品等の修復作業開始 |
| ♪ 29年 3月13日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）完了 |
| ♪ 29年 7月15日 | 開館 40 周年記念「大熊本県立美術館展リターンズ」開催 |
| ♪ 29年 8月 7日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）着工 |
| ♪ 30年 3月23日 | 美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）完了 |

II 施設・設備

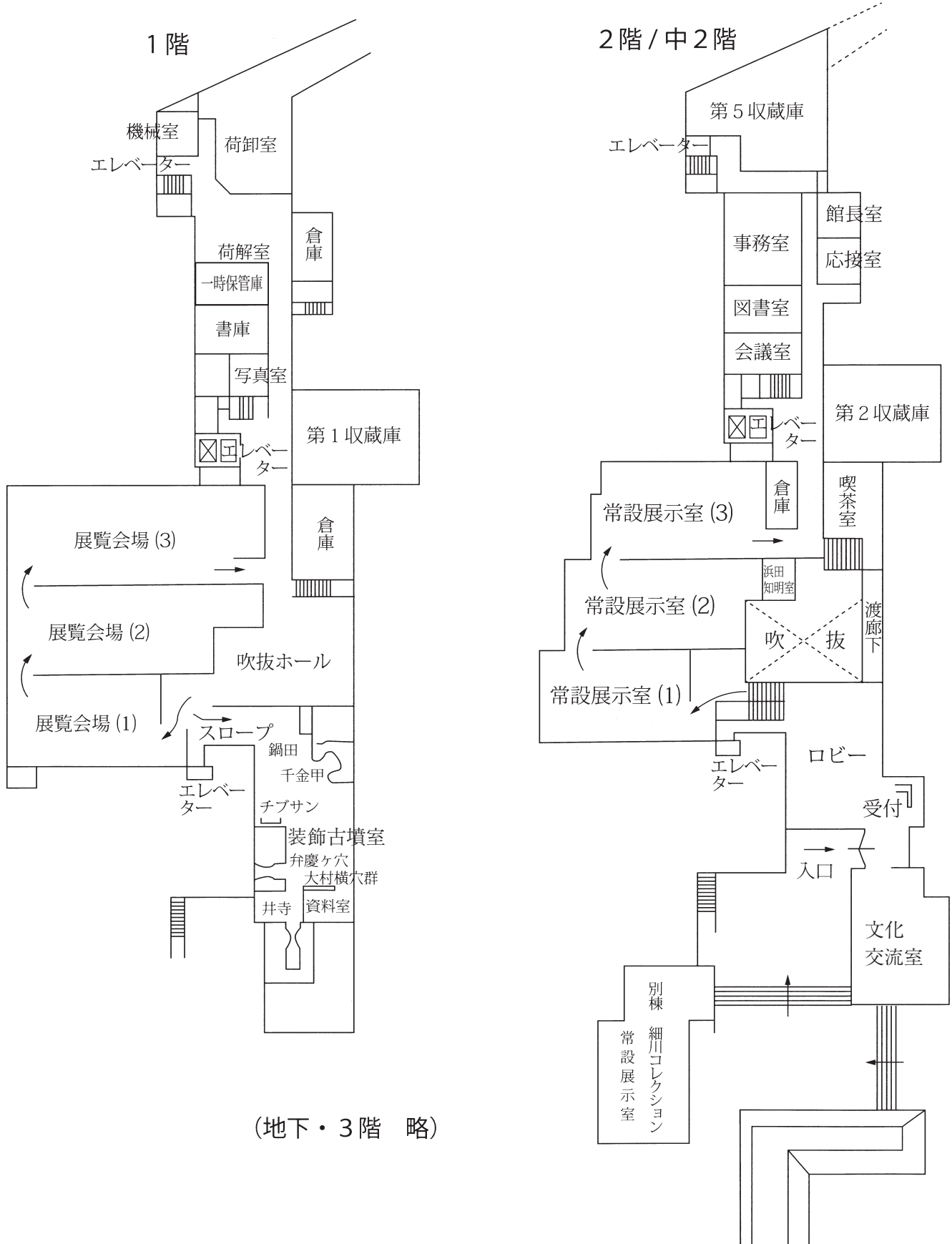
■施設・設備の概要

| | | 本館 | 分館 |
|------|------|---|---------------------------------|
| 所在地 | | 熊本市中央区二の丸2番 | 熊本市中央区千葉城町2番18号 |
| 設計監理 | | (株)前川国男建築設計事務所 | トレース&ラベニア・大和設計共同体 |
| 施工業者 | 建築 | (株)間組「酒井建設工業(株)」 | 浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体 |
| | 電気 | (株)九州電気工事「村上電気工事(株)」 | 太陽電気(株) |
| | 空調 | (株)大阪電気暖房「協電機工(株)」 | 上田商会・三祐建設建設工事共同企業体 |
| | 衛生 | (株)日栄工業「(株)西山商会」 | 広域設備工業(株) |
| 工期 | | 昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」 | 平成3年10月1日～平成4年10月9日 |
| 面積 | 敷地面積 | 14,200.00㎡ | 4,071.43㎡ |
| | 建築面積 | 3,793.65㎡ | 1,797.15㎡ |
| | 延床面積 | 7,942.85㎡ | 5,084.62㎡ |
| 構造 | 造 | 鉄筋コンクリート造 | 鉄筋コンクリート造 |
| | | 地下1階、地上3階 | 地下1階、地上4階、塔屋1階 |
| 仕上 | 外壁 | 珧炉器質打込タイル | 石張り(会津石) |
| | 屋根 | 軽量コンクリート、保護モルタル | 銅版張り |
| 設備 | 電気設備 | 減設協議電力277KW、自家発電装置 | 契約電力460KW |
| | 空調設備 | 空気熱源熱回収型スクリュウヒートポンプ 空気熱源水蓄熱スクリュウヒートポンプ 空調15系統 | 空冷式冷凍機、空調機7、空調機16 |
| | 衛生設備 | 上下水道使用、受水槽8㎡ | 上下水道使用、受水槽35㎡ |
| | 昇降設備 | エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基 | エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基 |
| | その他 | 屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備 | 屋内消火栓、ハロンガス消火設備 |

部門別面積

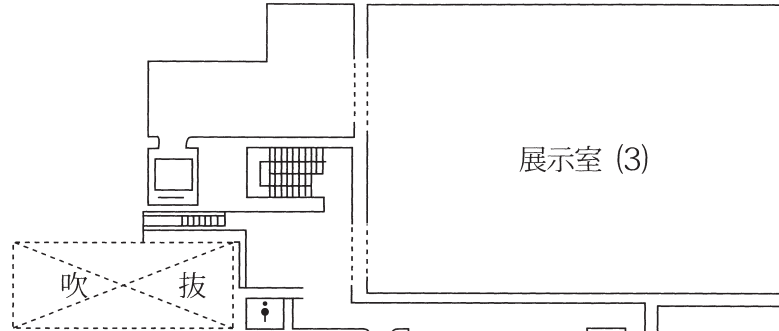
| 本 館 | | | | 分 館 | | | |
|-------------------------------------|-----------|----|---------|---------|------------------|----|---------|
| 部 門 | 室 名 | 室数 | 面積 (㎡) | 部 門 | 室 名 | 室数 | 面積 (㎡) |
| 展 示 室 | 装 飾 古 墳 室 | 1 | 339.37 | 展 示 室 | 展 示 室 | 3 | 933.47 |
| | 常 設 展 示 室 | 3 | 902.98 | | ギ ャ ラ リ ー | 1 | 158.20 |
| | 展 覧 会 場 | 3 | 1072.64 | | 彫 刻 広 場 | 1 | 56.00 |
| | 小 計 | | 2314.99 | | 小 計 | | 1147.67 |
| 収 蔵 室 | 収 蔵 庫 | 5 | 1062.51 | 収 蔵 室 | 収 蔵 室 | 1 | 149.42 |
| 利 用 施 設 | 講 堂 | 1 | 176.56 | 利 用 施 設 | フ ロ ン ト ホ ー ル | 1 | 62.30 |
| | ロ ビ ー | 1 | 361.69 | | 図 書 室 | 1 | 71.44 |
| | 吹 抜 ホ ー ル | 1 | 361.04 | | A V 室 | 1 | 79.20 |
| | 喫 茶 室 | 1 | 88.47 | | 喫 茶 室 室 休 憩 室 | 1 | 154.21 |
| | そ の 他 | 1 | 43.41 | | ロ ッ カ ー 室 | 1 | 11.56 |
| | 小 計 | | 1031.17 | | 救 護 室 / 授 乳 室 | 1 | 9.24 |
| 別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室 | 展 示 室 | 1 | 160.20 | | 売 店 | 1 | 20.00 |
| | そ の 他 | 1 | 186.60 | | 小 計 | | 407.95 |
| | 小 計 | | 346.80 | | 事 務 室 ・ 他 | | 177.99 |
| 事 務 管 理 | 事 務 室 ・ 他 | | 2434.51 | 事 務 管 理 | 機 械 室 | 4 | 338.80 |
| | 機 械 室 | 2 | 752.87 | | 倉 庫 そ の 他 | | 2862.79 |
| | 小 計 | | 3187.38 | | 小 計 | | 3379.58 |
| | 計 | | 7942.85 | | 計 | | 5084.62 |

美術館本館見取図

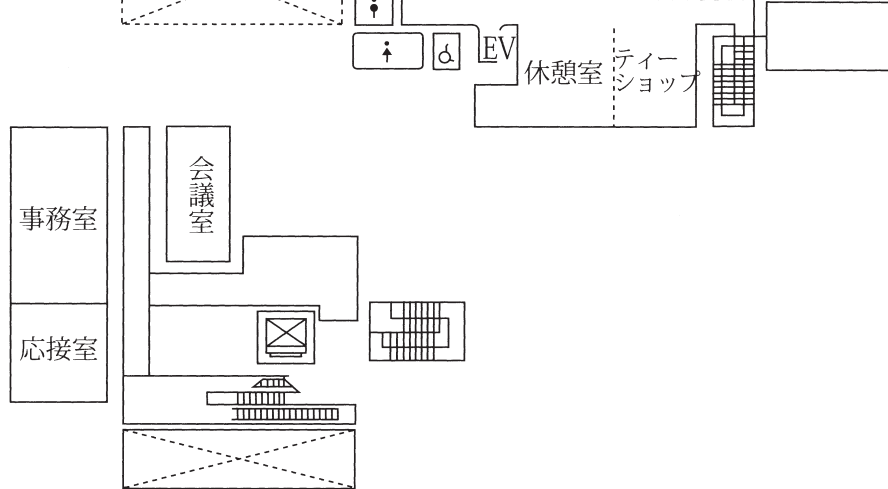


美術館分館見取図

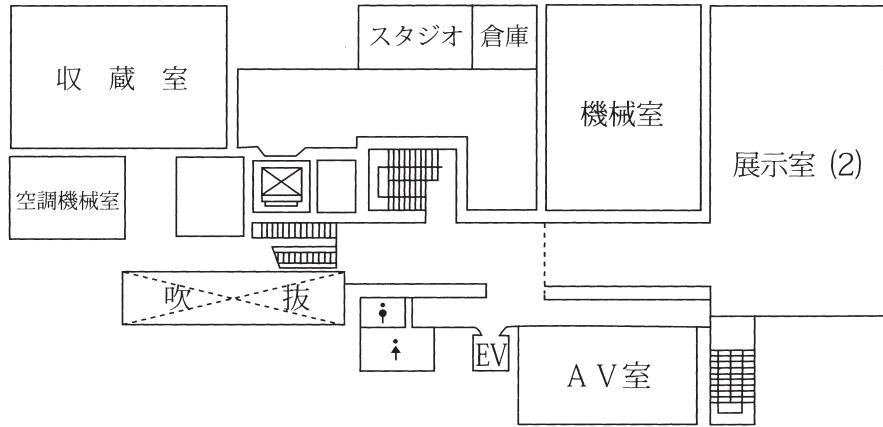
4階



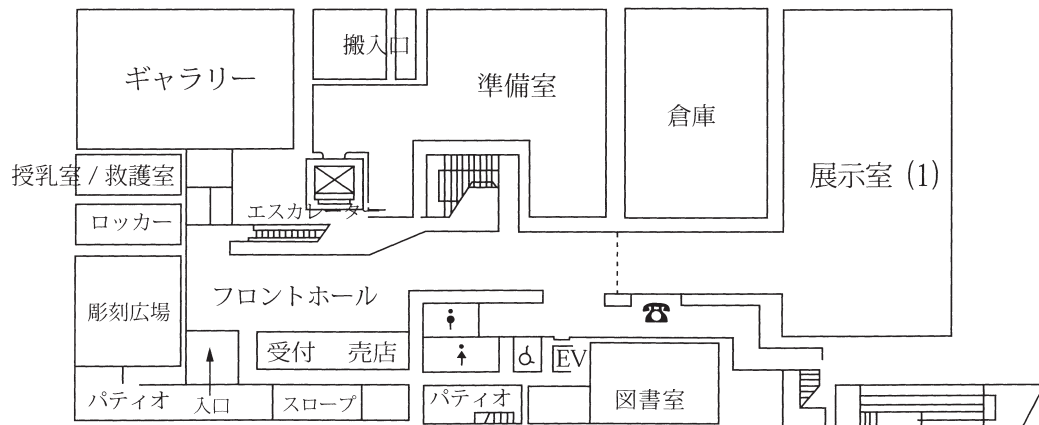
3階



2階



1階



Ⅲ 事業の概要

平成29(2017)年度熊本県立美術館年間スケジュール

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|-----------|---|--------------------------------|---|--------------------------------|--|---|--------------------------------------|----------|-----------|-----------|-------------|--|-----------|-----------|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|----------|--------------|-----------|-----------|------------|---------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|------------|
| 本館二階 | 熊日創立75周年記念 土佐の龍馬、肥後の小楠 —龍馬記念館所蔵品と 小楠の新出書簡— 4/8~5/14 | | 美術館コレクションⅡ 特集 今西コレクション の名品 6/20~7/2 | | 開館40周年記念 大熊本県立美術館展 リターンズ 7/15~9/3 | | 熊日創立75周年記念 若冲と京の美術 細見コレクションの精華 9/16~11/12 | | 第Ⅲ期改修工事による臨時休館及び年末年始休館 11/13~3/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本館一階 | 福岡市美術館・北九州市立美術館 名品コレクション 夢の美術館—めぐりあう名画たち— 4/11~5/28 | | 第3回 協会展 9回 熊本県 日本画 | 第4回 連盟展 5回 熊本県 美術家 | 第3回 童書道展 6回 熊日新 鋭・学 | 第8回 本会場 3回 東光展 (熊) | イリュージョンの 科学と アート展 7/15~ 7/23 | ターナーからモネへ 英国の至宝 ウェールズ国立美術館 所蔵 7/29~9/10 | | | | | 第7回 回票美展 | 白寿記念・九州初開催 生命を描く 堀 文子展 9/28~11/12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 別棟展示室 | 細川コレクションⅠ 特集 震災と復興の メモリー@熊本 4/14~5/21 | | 細川コレクションⅡ 特集 暮らしを彩る調度 —うろしの美、蒔絵の輝き— 5/27~7/2 | | 開館40周年記念 大熊本県立美術館展 リターンズ 7/15~9/3 | | 細川コレクションⅢ 特集 源氏物語と王朝文化の美 9/9~11/12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分館四階 | 災害復旧工事のため使用不可 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分館二階 | 災害復旧工事による臨時休館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分館一階 | <p>第46回熊本県立第二 高等学校美術科制作展</p> <p>第58回熊日写真展</p> <p>第44回熊本県書道連盟展</p> <p>第72回熊本県美術協会展(県美展)</p> <p>第23回キヤノンフ ト第9回パソコン・ア ート展</p> <p>第42回熊本県高等学校美術展</p> <p>第20回熊本県高等学校写生大会優秀作品展</p> <p>第53回熊本県高等学校書道展</p> <p>第42回熊本県高等学校美術展</p> <p>第20回熊本県高等学校写生大会優秀作品展</p> <p>NHKカルチャー教室受講者合同作品展</p> <p>第52回熊本県水彩画会展</p> <p>第44回熊学生学童書道展</p> <p>くまもと障がい者芸術展</p> <p>くまもと「描く力」2017—熊日美術公募展—</p> <p>水俣病展2017</p> <p>第58回熊日書道展</p> <p>年末年始休館12/25~1/4(4日は搬入日)</p> <p>第20回玄泉全国書道展</p> <p>第40回尚綱大学書道展</p> <p>第71回熊日学童 スケッチ展</p> <p>ル・ヴリアム・メレ ル・書道系卒業制作展</p> <p>第15回熊本市立必由館高校芸術コース美 術・書道系卒業制作展</p> <p>第12回しんか展</p> <p>創元会熊本支部展</p> <p>第37回尚綱大学卒 業書道展</p> <p>第12回しんか展</p> <p>第8回墨彩画無窮会 うえきアート展</p> <p>第24回熊本デザイン専門学校卒業制作展</p> <p>第23回日本高校生デザインプロ作品展</p> <p>第29回大津高校美 術コース卒業制作展 (第70回回陽美展)</p> <p>第27回書初め席書 展</p> <p>葉城写真展</p> <p>崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展</p> <p>第31回国際文化交 流会選抜臨書展</p> <p>第28回尚美展</p> <p>日洋会熊本支部展</p> <p>山本悠佳書作展</p> <p>熊本大学教育学部美 術科卒業・修了制作 作品展</p> <p>熊本大学教育学部美 術科在科生展</p> <p>熊本大学教育学部美術科同窓会展</p> <p>熊本大学教育学部美術科同窓会展</p> <p>一般社団法人二科会写真部九州・沖縄地区公募展展示会</p> <p>二科熊本支部絵画展</p> <p>第10回輪の会展 —中尾和弘個展 —阿蘇を描く—</p> <p>遊美塾写真展</p> <p>第34回美術文化熊 本支部展</p> <p>第21回のびる油彩 展</p> <p>第59回アマチュア絵画展</p> <p>第30回紅華会書作 展</p> <p>第29回回紅華会書作 展</p> <p>第30回紅華会書作 展</p> <p>第3回回紅華会書作 展</p> <p>第4回回ヒリングア ート展</p> <p>第29回回熊工美術 展</p> <p>第31回熊日書道展 —「喜寿記念展」— 平方研水</p> <p>熊本独立作家展</p> <p>第16回熊本県水墨画協会展</p> <p>第80回銀光展</p> <p>清和条幅展・七夕展</p> <p>エヴァンゲリオンと日本刀展</p> <p>17グループ香書 作展</p> <p>第29回熊本県シルバ ー作品展</p> <p>アポア会展 熊本県 美術同好会</p> <p>第23回キヤノンフ ト第9回パソコン・ア ート展</p> <p>第30回GR OUP —「茜」油絵サークル展 —</p> <p>熊本県庁友会文化作品展</p> <p>そよ風会(日本画教室) 写真研究会無名塾・デジ タル教室フォト光合同展</p> <p>写真あけぼの会第43回 景展「野の花」と「風 景」</p> <p>Fアトリエ展(二子石 教室展)</p> <p>第5回三嶋書展</p> <p>松村亘ペン画展</p> <p>第39回虹の会版画展</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会期 | 6/6~ 11 | 13~ 18 | 20~ 25 | 27~ 7/2 | 4~ 9 | 11~ 17 | 19~ 23 | 25~ 30 | 8/1~ 6 | 8~ 13 | 15~ 20 | 22~ 27 | 29~ 9/3 | 5~ 10 | 12~ 18 | 20~ 24 | 26~ 10/1 | 3~ 9 | 11~ 15 | 17~ 22 | 24~ 29 | 31~ 11/5 | 7~ 12 | 16~ 12/10 | 12~ 17 | 19~ 24 | 25~ 1/4 | 5~ 8 | 10~ 14 | 16~ 21 | 23~ 28 | 30~ 2/4 | 6~ 12 | 14~ 18 | 20~ 25 | 27~ 3/4 | 6~ 11 | 13~ 18 | 20~ 25 | 27~ 4/1 |
| ギャラリー | <p>第39回虹の会版画展</p> <p>松村亘ペン画展</p> <p>第5回三嶋書展</p> <p>Fアトリエ展(二子石 教室展)</p> <p>第5回三嶋書展</p> <p>松村亘ペン画展</p> <p>第39回虹の会版画展</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

■ 展覧会記録

熊日創立 75 周年

土佐の龍馬、肥後の小楠

— 龍馬記念館所蔵品と小楠の新出書簡 —

| | |
|-------|--|
| 会 期 | 平成 29 年 4 月 8 日 (土) ~ 5 月 14 日 (日) |
| 開催日数 | 34 日 |
| 会 場 | 熊本県立美術館本館 2 階展示室 (第 1 ~ 2 室) |
| 主 催 | 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送 |
| 共 催 | 高知県立坂本龍馬記念館 |
| 特別協力 | 横井小楠記念館、竹田市立歴史資料館、 高知県立歴史民俗資料館 |
| 後 援 | 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県凶画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、 熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791 |
| 観 覧 料 | 一般 800 円 (600 円) 大学生 600 円 (400 円) 高校生以下無料 () 内は前売・団体 20 名以上の料金 |
| 観覧者数 | 10,172 名 |
| 担 当 者 | 宮川 聖子 |



趣旨とその成果

本展は、熊本日日新聞社の 75 周年を記念する展覧会であった。もともとは、高知県立坂本龍馬記念館のリニューアルに伴い、同館所蔵品の巡回会場として熊本が選ばれたことが発端であった。郷土の偉人である横井小楠が龍馬と交流があったことに起因しているが、両者が懇意であったとは必ずしも言えず、両者の関係性を示す資料もごく一部であった。それゆえ、本館 2 階展示室第 1 室と 2 室において、それぞれの事績を部屋ごとに紹介する展示構成を取らざるを得なかった。

しかし、本展は熊本県立美術館にとって開館以来はじめて幕末維新时期を対象とする歴史系の特別展であり、新たな試みに挑戦した企画といえる。

さらに、平成 28 年 4 月に起きた熊本地震によって、横井小楠記念館が被災・休館していたため、この時期に小楠を取りあげたことの意義は大きい。目玉にした豊後岡藩の小河一敏に宛てた小楠の新出書簡 19 通は、開明的思想が急速に深まった嘉永~安政期の小楠の考えをよく示す第一級の史料である。これらの書簡が紹介されることで、今後の小楠研究が一段と深化することは間違いない。

教育普及の面では、特別講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館等の各種イベントを実施し、すべてにおいて好評を得た。とくに京都国立博物館の宮川禎一氏を招いた特別講演会は、217 名もの聴講者を集め大盛況となり、近年稀にみる成果となった。

関連行事

- ① 特別講演会「龍馬は今も生きている」
日 時：4月8日（土）11：00～12：00
場 所：本館・講堂
講 師：高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長 前田由紀枝氏
聴講者：130名
- ② 子ども美術館「君にも読める坂本龍馬の手紙」
日 時：4月16日（日）10：30～12：00
場 所：本館・講堂
参加者：44名
- ③ 特別講演会「坂本龍馬の手紙を読む－その面白さ－」
日 時：5月6日（土）13：30～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：京都国立博物館 上席研究員 宮川禎一氏
聴講者：217名
- ④ ミュージアムセミナー「発見！横井小楠の新出書簡」
日 時：5月14日（日）14：00～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課主任学芸員 宮川聖子
聴講者：131名

第Ⅰ期 細川コレクション 〈特集〉震災と復興のメモリー@熊本

会 期 平成 29 年 4 月 14 日（金）～5 月 21 日（日）
開催日数 35 日間
会 場 別棟常設展示室
主 催 熊本県立美術館、公益財団法人永青文庫、
熊本市（熊本城調査研究センター）、
熊本大学永青文庫研究センター、
熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
協 賛 京都市立芸術大学サイレントアクア実行委員会
協 力 肥後銀行 くまもと文学・歴史館
観 覧 料 一 般：210 円（160 円）
大学生：130 円（100 円）
高校生以下無料
（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数 4,636 名（別棟のみ）
担 当 者 山田 貴司



趣旨とその成果

平成 28 年熊本地震からちょうど 1 年を経た平成 29 年 4 月 14 日にスタートした熊本県立美術館「震災と復興のメモリー@熊本」展は、当地の震災と復興の歴史を振り返り、その記憶化と記録化を目指すべく、企画した展覧会であった。

震災の発生後、熊本では、地震の歴史的背景が研究者の注目を集め、熊本で大きな地震が起きたのはこれからはじめてではないこと、熊本城や地域社会に大きな被害が出たのも、はじめてではないことがわかってきた。そして、細川家ゆかりの文化財を所蔵する公益財団法人永青文庫の資史料群などに、熊本を襲った震災の記録が伝来していることも、知られはじめていた。

本展は、こうした研究の進捗を踏まえたもので、会場には、地震の発生や被害の様子を示す古文書や絵図を展示し、奈良時代から明治時代まで、熊本の震災史をたどれるような章だてを組んだ。江戸時代前期に地震が頻発する中、熊本城の建物や石垣の崩壊を恐れていた藩主細川忠利の手紙や、江戸時代後期に有明海を襲った津波被害を描いた絵図、熊本城に大きな被害を及ぼした明治 22 年の「金峰山地震」などが、震災の歴史と復興のあゆみを示す重要なトピックであった。

会期中には、熊本地震の歴史的背景を多角的な視野から理解できるよう、文献史学の専門家、城郭考古学の専門家に加え、地震学の専門家を招聘し、シンポジウムを開催した。学際的な意見交換からは、平成 28 年熊本地震の発生と被災状況は必然的だったという見解に至り、引き続きの備えを訴えるものとなった。

最終的に、35 日間の開催で 4,636 名にご観覧いただき、図録の売り上げは 500 冊を超えた。本展の開催により、地震への備えと、復興に向けた私たちのあゆみに、少しでも資するところがあれば幸いに思う。

関連行事

4月29日（土）「震災と復興のメモリー @ 熊本シンポジウム」

テーマ：震災と復興の歴史を振り返る @ 熊本

講師：清水 洋（九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター長／教授）

稲葉継陽（熊本大学永青文庫研究センター長／教授）

鶴嶋俊彦（熊本城調査研究センター主幹）

参加者：107名

第Ⅱ期 美術館コレクション 〈特集〉今西コレクションの名品 〈常設〉夜から朝へ ：世紀末のロンドンとパリ

会 期 平成 29 年 5 月 20 日（土）～7 月 2 日（日）
開催日数 38 日間
会 場 本館 2 階
主 催 熊本県立美術館
観 覧 料 一 般：270 円（190 円）
大学生：160 円（120 円）
高校生以下無料
（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数 2,568 名（本館 2 階のみ）
担 当 者 金子 岳史（2 室）、岡田 真梨子（3 室）



趣旨とその成果

2017 年は今西菊松氏の没後 30 年にあたった。今西コレクションは、NHK 熊本放送局の職員であった故・今西菊松氏が生涯をかけて収集した、肉筆浮世絵・版画・茶道具・工芸品などのたいへん優れたコレクションである。今西氏は、研ぎ澄まされた鑑識眼をもとに、生活費をも切り詰めながら並々ならぬ執念で作品を収集した。とくに肉筆浮世絵は、国内でも有数のコレクションで、全国的にも高く評価されている。今西氏が亡くなられた後、ご遺族のご厚意により、コレクションの大部分は熊本県立美術館に寄贈された。今回の特集展示では、今西氏が収集した浮世絵を通して、日本の浮世絵の歴史をたどった。

また、当館が所蔵する西洋版画・油絵コレクションの中から、イギリスとフランスを中心に 19 世紀末から都市文化が花開く様子をたどり、コレクションの新たな魅力を紹介した。たとえばマーティン《失楽園》に構造のみ登場するパノラマや、人口集中に伴う身元不明者や犯罪への恐れが垣間見えるメリヨンの《モルグ》、都市の環境が向上するにつれ、都市内の散歩が普及したことによるロートレック《ディヴァン・ジャポネ》のようなポスターの登場、そして大都市への人口流入現象の一環としてのエコール・ド・パリなど、当時の世界的大都市であるロンドンとパリを舞台に、都市文化・視覚文化と美術の関わりを体験できる内容を目ざした。

第Ⅱ期 細川コレクション 〈特集〉暮らしを彩る調度

| | |
|-------|---|
| 会 期 | 平成 29 年 5 月 27 日（土）～7 月 2 日（日） ※細川コレクション常設展示（本館 2 階）は、5 月 20 日（土）～7 月 2 日（日） |
| 開催日数 | 32 日間 |
| 会 場 | 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室 |
| 主 催 | 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送 |
| 特別協力 | 公益財団法人永青文庫 |
| 協 力 | 肥後銀行 |
| 観 覧 料 | 共 通 券：一般 420 円（300 円） 大学生 250 円（190 円） 別 棟：一般 210 円（160 円） 大学生 130 円（100 円） 本館 2 階：一般 270 円（190 円） 大学生 160 円（120 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金 |
| 観覧者数 | 4,036 名（本館 2 階：2,568 名 別棟：1,468 名） |
| 担 当 者 | 才藤 あずさ |



趣旨とその成果

細川家伝来の美術工芸品を所蔵する永青文庫には、藩主をはじめ、藩主夫人やその子女たちの暮らしを彩った華やかな調度品の数々が伝えられている。その種類は、文房具、化粧品、飲食具、遊戯具など多岐にわたり、多くは金銀の蒔絵で装飾がほどこされた美しいものであった。本展では、婚礼に際して調べられた家紋入りの婚礼調度をはじめ、細川家伝来の大名調度を紹介した。出品した調度品はすべて、長らく熊本県立美術館に「預かり品」として保管されていた永青文庫所蔵資料であり、平成 20 年度から文化庁の国庫補助事業及び永青文庫常設展示振興基金により、悉皆調査が進められている。今回の展示では、同調査により発見された「御印」入りの調度など、初公開の作品もあり、現在継続中の大名調度調査の中間報告という点からも意義のあるものであった。

本館 2 階の常設展示「細川家の歴史と美」では、細川家歴代藩主の甲冑や、熊本城の障壁画であったことが推測される屏風絵、能面・能道具などを展示し、大名・細川家における武家文化の一端を紹介した。

関連行事

- 6 月 24 日（土）ミュージアムセミナー
演 題：「細川家伝来の大名調度」
講 師：学芸課主任学芸員 才藤あずさ
聴講者：24 名

開館 40 周年記念

大熊本県立美術館展リターンズ

名品、ふたたび集う

会 期 平成 28 年 7 月 15 日（土）～ 9 月 3 日（日）

開催日数 46 日間

会 場 本館 2 階展示室及び別棟展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社

後 援 熊本県文化協会 熊本県文化懇話会

熊本県美術家連盟 熊本県文化財保護協会

熊本県市町村教育委員会連絡協議会

熊本県凶画工作・美術教育研究会

熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会

熊本県高等学校文化連盟

熊本県博物館連絡協議会

NHK 熊本放送局 RKK 熊本放送

TKU テレビ熊本 KKT 熊本県民テレビ

エフエム熊本 KAB 熊本朝日放送 FM791

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

観 覧 料 一般 420 円（300 円）、大学生 250 円（190 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体割引料金高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方無料

入館者数 15,557 名（2 階：8,708 名／別棟：6,849 名）

担 当 者 林田 龍太



趣旨とその成果

開館 40 周年を記念して開催するも、地震のために 6 日間で中止となった「大熊本県立美術館展」を再び開催。本館 2 階展示室と別棟展示室のみを会場としたため、展示内容は前回は引き継ぎつつも、より出品作品を厳選し、時代の変遷を追うことができる構成とした。また、震災で中止となった展覧会の再開を印象づけるよう、第 2 室には当館が震災時に行った取り組みを紹介するコーナーを設置。修復された平田郷陽の人形作品と、震災当時の館内写真を展示した。さらには、近年の刀剣ブームを鑑み、永青文庫や当館が所蔵する刀剣を多数展示。同時期に刀剣を展示していた肥後の里山ギャラリーや県立美術館分館と連携を図った。その他、通常行っている子ども美術館以外の関連イベントとして、宮崎を拠点に活動するダンス・カンパニー「んまつーぽす」による子ども向けワークショップ及び装飾古墳室でのダンス展示を開催。また、子ども美術館開催日の 12:00～14:00 を、展示室での会話を可とする「おしゃべり鑑賞タイム」を実施した。当館としては新たな試みとなったこれらのイベントは、時間的制約等のために広報が間に合わないという問題はあったものの、参加者には概ね好評であった。

関連行事

① 子ども美術館

「バックヤード探検&ミニ展示室づくり」

日 時：7月30日（日） 10：30～12：00

場 所：本館講堂

参加者：35名

② おしゃべり鑑賞タイム

日 時：7月30日（日）・8月20日（日） 各13：00～15：00

場 所：全展示室

③ 秋の特別イベント

「んまつーポスダンス観戦 in 熊本県立美術館」

・小中学生向けワークショップ

日 時：8月12日（土） 10：00～12：00

場 所：本館講堂及びロビー

講 師：んまつーポス

参加者：10名

・ダンス観戦

日 時：8月13日（日）13：30～、14：25～、15：20～（計3回実施）

場 所：本館装飾古墳室

講 師：んまつーポス

参加者：120名

イギリス国立ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ—英国の至宝

| | |
|-------|--|
| 会 期 | 平成 29 年 7 月 29 日（土）～9 月 10 日（日） |
| 開催日数 | 40 日間 |
| 会 場 | 本館 1 階 |
| 主 催 | 熊本県立美術館、 KKT くまもと県民テレビ、読売新聞社 |
| 後 援 | ブリティッシュ・カウンシル 熊本県文化協会 熊本県美術家連盟 熊本日英協会 熊本日仏協会 熊本県市町村教育委員会連絡協議会 熊本県図画工作・美術教育研究会 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会 熊本県高等学校文化連盟 熊本県博物館連絡協議会 NHK 熊本放送局 エフエム熊本 FM791 |
| 協 賛 | 肥後銀行 |
| 協 力 | ヤマトロジスティクス株式会社 |
| 観 覧 料 | 一 般：1,300 円（1,100 円） 高・大生：800 円（600 円） 中学生以下無料 （ ）内は前売・団体 20 名以上の料金 |
| 観覧者数 | 17,126 名 |
| 担 当 者 | 岡田 真梨子 |



趣旨と成果

当館では珍しいイギリス美術も出品される大型の海外展であり、国内では大都市圏を除いてほとんど巡回しない風景画家ターナーの油絵、モネの油絵も出品され、来館者の注目を集めた。貸出館であるウェールズ国立美術館側の厚意により、柵を設けない展示方法を採用したため、会期を通して親子連れの話や車いすの利用者が多く見られた。内容面については、比較的風景画・歴史風俗画の多い出品作品群を、都市文化、科学技術史、万博、イギリス美術界とフランス美術界の関係などの観点をふまえて画家の靈感源を探る、会場限定の解説を独自に設けた。この解説に対して、美術への造詣が深い観覧者からアンケート等で一定の反応が見られた。ロマン主義からバルビゾン派、リアリズム、ラファエル前派、印象派、そして大都市を行き来した外国人画家やセザンヌら 20 世紀絵画までの、国家を越えた交流の見られた近代美術の側面をたどることのできる、充実した作品群であった。また、熊本とイギリス文化にゆかりの深い夏目漱石に関する解説も会場内に設けた。

関連行事

① ミュージアムセミナー

演 題：「もっと外へ—風景画のあゆみ」

講 師：学芸課学芸員 岡田真梨子

日 時：8月5日（土）14：00～15：00 本館講堂

聴講者：41名

演 題：「モネとロンドン—光は海峡を越えて」

講 師：学芸課学芸課長 村上哲

日 時：8月26日（土）14：00～15：00 本館講堂

聴講者：108名

② こども美術館

「モネはターナーから何を学んだ？—フランスの絵とイギリスの絵」

日 時：8月20日（日）10：30～12：00 本館講堂

参加者：65名

第Ⅲ期 細川コレクション 〈特集〉 源氏物語と王朝文化の美

| | |
|-------|--|
| 会 期 | 平成 29 年 9 月 9 日（土）～ 11 月 12 日（日） |
| 開催日数 | 57 日間 |
| 会 場 | 熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室 |
| 主 催 | 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、 RKK 熊本放送 |
| 特別協力 | 公益財団法人永青文庫 |
| 協 力 | 肥後銀行 |
| 観 覧 料 | 一般：210 円（160 円） 大学生：130 円（100 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金 |
| 観覧者数 | 5,670 名 |
| 担 当 者 | 金子 岳史 |



趣旨とその成果

平安時代より、京都の貴族社会で育まれた文化は、江戸時代においてもなお、大名家において重んじられ、王朝文学を主題とした絵画・工芸品などが制作された。

本展では、細川家や松井文庫に伝わる数々の源氏物語絵をはじめとして、王朝文化を題材とした作品を紹介した。また、平成27年度に修復が完了した、室町時代の貴重な源氏絵の扇面屏風である《源氏物語扇面貼交屏風》を修復後初公開した。

本展は、「若冲と京の美術」展と同時期に共通する内容の展覧会として開催した。そのため、五千人を超える入館者があり、同展と併せて京文化にまつわる永青文庫の作品を紹介する機会となった。

熊日創立 75 周年記念

みやこ 若冲と京の美術

— 細見コレクションの精華

| | |
|-------|--|
| 会 期 | 平成 29 年 9 月 16 日 (土) ~ 11 月 12 日 (日) |
| 開催日数 | 51 日間 |
| 会 場 | 本館 2 階展示室 |
| 主 催 | 熊本県立美術館、熊本日日新聞社 RKK 熊本放送、公益財団法人細見美術館 |
| 後 援 | 熊本県文化協会 熊本県美術家連盟 熊本県市町村教育委員会連絡協議会 熊本県図画工作・美術教育研究会 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会 熊本県高等学校文化連盟 熊本県博物館連絡協議会 NHK 熊本放送局 エフエム熊本 FM 79.1 |
| 特別協賛 | 肥後銀行 |
| 観 覧 料 | 一般：1,000 円 (800 円) 高大生：800 円 (600 円) |
| 観覧者数 | 21,335 名 |
| 担 当 者 | 金子 岳史 |



伊藤若冲《雪中雄鶏図》

趣旨とその成果

京都市・岡崎に位置する細見美術館は、大阪の実業家・故細見良氏（初代古香庵、1901 - 79）にはじまる細見家三代のコレクションをもとに、平成 10 年（1998）に開館した美術館である。収蔵作品は、仏教・神道美術から近世・近代の絵画まで、日本美術の分野・時代を網羅する優品の数々からなり、中でも伊藤若冲の作品は、質量ともに内外屈指のコレクションとして広く知られている。また、京都の情景を描いた風俗画や、古典文学の意匠による美術工芸品など、「京」で培われた文化を伝える作品が多いのも特徴の一つである。

本展覧会では、「京」をキーワードに、江戸時代中期に京都で活躍した画家・伊藤若冲の作品を中心に、京都ゆかりの多彩な美術工芸品を細見コレクションの中から選りすぐり、約 90 点を展示した。

熊本で伊藤若冲の作品がまとまった形で展示されるのは初めてのことであり、京都にまつわる数々の美術工芸品とともに提供する貴重な展覧会であった。

また、本展覧会は、第 59 回熊本県芸術文化祭参加事業として開催した。

関連行事

- ① 9 月 16 日 (土) 特別講演会
演 題：伊藤若冲と京の美術
講 師：細見美術館 館長 細見良行氏
参加者：163 名
- ② 10 月 29 日 (日) 子ども美術館
「まねしてまなぶ 伊藤若冲ってどんな人？」
参加者：69 名
- ③ 11 月 4 日 (土) ミュージアムセミナー
演 題：江戸時代絵画史における“京都”
講 師：主任学芸員 金子岳史
参加者：59 名

平成 29 年度 ^き生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.3

会 期 平成 29 年 10 月 3 日 (火) ~ 10 月 15 日 (日)
会 場 本館講堂
主 催 アール・ブリュット (生の芸術) パートナース熊本
共 催 熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園
入館者数 2,252 名
担 当 者 石丸 美穂子、岡田 真梨子

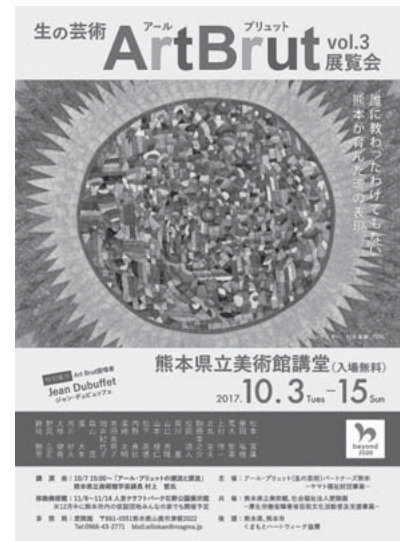
関連行事

10 月 7 日 (土) 特別講演会

演 題：アール・ブリュットの潮流と源流

講 師：学芸課長 村上 哲

参加者：23 名



平成 29 年度スクールミュージアム

主 催 熊本県立美術館
 展 示 物 浜田知明氏の作品（銅版画、原板）
 観 覧 者 12 校（NHK 会館含む） 合計 2,652 名
 担 当 者 石丸 美穂子、岡田 真梨子



趣旨とその成果

平成 18 年（2006）より、教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込み、学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。美術作品を鑑賞することで、子どもたちの芸術、文化を愛好する心情を育てるとともに、学校の協力により、保護者、地域の方々にもひろく本館収蔵品を知ってもらう機会としている。例年 4 月に県内の学校に実施校の募集をし、希望のあった学校から 10 校程度を選出。10 月から 12 月の期間に各校 1 日で開催している。具体的な内容については事前に開催校に赴いて担当者と協議し、鑑賞における要望等、実施計画を組み立てた。展示作品は、熊本ゆかりの版画家・彫刻家として知られる浜田知明の版画作品 20 点と原板 2 点、マルク・シャガールの版画集『サーカス』から 16 点をピックアップし、この中から学校側の希望により 18～34 点を展示した。今年度も文化祭での展示、鑑賞授業、小中連携など実施形態は様々で、当館職員はギャラリートークや、学校職員と協力して鑑賞授業を行った。

また、今年度は本館が改修工事のため開催出来なかった NHK 美術館コンサートを、「出張美術館コンサート」として開催。シャガール作品を展示し、当時の音楽や展示作品からの即興音楽などが上演され、大変盛り上がりのあるコンサートとなった。

実施校

| 実施日 | 実施校 | 児童・生徒参加者数 | 保護者等参加者数 | 合計 |
|--------------|--------------|-----------|----------|-------|
| 10 月 10 日（火） | 水俣市立袋中学校 | 161 | 27 | 188 |
| 10 月 12 日（木） | 上天草市立登立小学校 | 230 | 50 | 280 |
| 10 月 22 日（日） | 和水町立三加和中学校 | 79 | 76 | 155 |
| 10 月 24 日（火） | 上天草市立阿村中学校 | 115 | 30 | 145 |
| 11 月 7 日（火） | 合志市立西合志中学校 | 255 | 21 | 276 |
| 11 月 10 日（金） | 氷川町立竜北東小学校 | 182 | 17 | 199 |
| 11 月 24 日（金） | 天草市立五和小学校 | 284 | 25 | 309 |
| 12 月 2 日（土） | 天草市立新和小学校 | 110 | 84 | 194 |
| 12 月 3 日（日） | 御船町立滝尾小学校 | 63 | 30 | 93 |
| 12 月 10 日（日） | 芦北町立吉尾小学校 | 9 | 41 | 50 |
| 12 月 19 日（火） | 玉名女子高等学校 | 650 | 24 | 674 |
| 2 月 3 日（土） | NHK 美術館コンサート | | 89 | 89 |
| 総計 | 11 校 | 2,138 | 514 | 2,652 |

菊池恵楓園 1 日移動美術展「浜田知明作品展 2017 秋」

| | |
|-------|--|
| 会 期 | 平成 29 年 11 月 3 日 (金・文化の日) |
| 開催日数 | 1 日間 |
| 会 場 | 国立療養所菊池恵楓園 社会交流会館 (歴史資料館) |
| 主 催 | 熊本県立美術館、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会 国立療養所菊池恵楓園 |
| 観 覧 料 | 無料 |
| 観覧者数 | 74 名 |
| 担 当 者 | 林田 龍太、石丸 美穂子 |



趣旨とその成果

浜田知明作品をコレクションしてこられた永野一成氏は、上益城郡の小・中学校で教職に就き、人権教育の実践者としてもよく知られた教師で、2005 年病没された。生前、ハンセン病問題の啓発活動にも深く関わり、菊池恵楓園での展覧会を通し入所者や地域の方々に人間愛にあふれる浜田作品を見てもらいたいと願っておられたが、永野氏の病気等の為実現できなかった。収集された浜田知明作品 160 余点は、一成氏の逝去後奥様から県立美術館に一括して寄贈いただき、スクール・ミュージアムなどに活用されている。

今回で 11 回目となる本展は、浜田知明の銅版画 15 点、宮崎静夫の油彩画 1 点を、恵楓園の入所者や職員、そして地域の方々に間近で鑑賞していただく機会となった。天候にも恵まれ、外部からも多くの方に時間をかけて鑑賞していただいた。社会交流会館の展示も充実しているので、「浜田知明作品展」とともに資料展示も見ていただき、作品鑑賞とハンセン病に対する啓発の貴重な機会ともなっている。

■ 浜田知明版画室 平成 29 (2017) 年度

概要

熊本市在住の版画家・彫刻家、浜田知明の版画作品約 10 点を入替ながら展示し、その作品と関連がある彫刻作品を毎回 1、2 点紹介している。第 1 期 (4 / 8 ~ 5 / 14) までは前年度まで行われていた時代順の展示方法を引き継いで開催したが、第 2 期以後は新たな試みとしてテーマを設けた展示とした。第 2 期 (5 / 20 ~ 7 / 2) のテーマは「人のかたち」、第 3 期 (9 / 28 ~ 11 / 12) のテーマは「穴」。いずれも、戦争に関連する作品とそれ以外の作品をあえて混在させ、画家の造形的特質に迫る内容とした。



会 場 熊本県立美術館本館 2 階浜田知明版画室

担 当 者 林田 龍太・岡田 真梨子

◆会期・出品作品リスト

□第 1 期 (4 月 8 日 ~ 5 月 14 日)

◇版画：《初年兵哀歌 (銃架のかげ)》昭和 26 年 (1951)、《初年兵哀歌 (歩哨)》昭和 26 年 (1951)、《風景》昭和 28 年 (1953)、《初年兵哀歌 (歩哨)》昭和 29 年 (1954)、《よみがえる亡霊》昭和 31 年 (1956)、《愛の歌》昭和 32 年 (1957)、《飛翔》昭和 33 年 (1958)、《アレレ・・・》昭和 49 年 (1974)、《月夜》昭和 52 年 (1977)、《ボタン (B)》昭和 63 年 (1988)

◇彫刻：《飄々》平成 14 年 (2002)、《杖をつく男》平成 25 年 (2013)

□第 2 期「人のかたち」(5 月 20 日 ~ 7 月 2 日)

◇版画：《風景》昭和 28 年 (1953)、《人》昭和 26 年 (1951)、《高足踊り》昭和 29 年 (1954)、《人》昭和 31 年 (1956)、《女》昭和 35 年 (1960)、《たそがれ》昭和 36 年 (1961)、《晩年 (A)》昭和 47 年 (1972)、《家族》昭和 52 年 (1977)、《初年兵哀歌 (風景)》昭和 27 年 (1952)

◇素描：《戦地でのスケッチ (中原会戦一関家溝にて 6 月)》昭和 16 年 (1941)、

◇彫刻：《晩年》平成 11 年 (1999)

□第 3 期「穴」(9 月 28 日 ~ 11 月 12 日)

◇版画：《假標》昭和 29 年 (1954)、《黄土地帯 (B)》昭和 29 年 (1954)、《壁》昭和 36 年 (1961)、《カタコンベ》昭和 41 年 (1966)、《パリの壁から》昭和 45 年 (1970)、《男》昭和 50 年 (1975)、《行きどまり》昭和 56 年 (1981)、《怯える人々》昭和 60 年 (1985)、《窓から - 何もしてないよ (A)》平成 6 年 (1994)、《カッパドキア追想》平成 12 年 (2000)

◇彫刻：《幽界を覗く人》平成 22 年 (2010)

■装飾古墳室

〈常設展示室〉

装飾古墳室は、古代から現代に至る本県の美術史の原点として設けたものである。

九州における装飾古墳は、5世紀から7世紀にかけて盛行して、現在全国で発見されている約660基の過半数369基が九州地方に、特に196基が熊本県に集中している。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にあるといえる。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されて墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。

しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

平成28年4月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成29年度「本館機能強化事業」によって全国の装飾古墳情報を検索できる端末を設置した。平成30年4月の開館後から、端末機器を操作することで、熊本を中心に全国の代表的な装飾古墳の所在地、築造年代、特徴、デジタル画像など最新の情報を一覧できるようになった。



〈レプリカ・模刻〉

| No. 名称 | 出土地名 | 指定 |
|-------------|------------|-------|
| 1 大村横穴 | 人吉市城本町 | 国指定史跡 |
| 2 千金甲古墳(1号) | 熊本市西区小島下町 | 〃 |
| 3 井寺古墳 | 上益城郡嘉島町 | 〃 |
| 4 鍋田横穴 | 山鹿市大字鍋田 | 〃 |
| 5 弁慶ヶ穴古墳 | 山鹿市熊入町 | 〃 |
| 6 チブサン古墳 | 山鹿市大字城字西福寺 | 〃 |

〈石材・石人等〉

| No. 名称 | 出土地名 | 所蔵(保管)者名 |
|----------------|----------|------------|
| 1 広浦古墳石棺石材 | 上天草市大矢野町 | 県立済々黌高等学校 |
| 2 鴨籠古墳石棺 | 宇城市不知火町 | |
| 3 臼塚古墳石人 | 山鹿市大字石 | 県立鹿本商工高等学校 |
| 4 姫ノ城古墳出土翳・蓋・靱 | 八代郡氷川町 | 氷川町教育委員会 |

■教育普及

□各種講座等

子ども美術館活動

| 回 | 期 日 | テ ー マ | 講 師 | 参加者数 |
|----|-----------|---------------------|--|------|
| 1 | 4月16日(日) | 君にも読める坂本龍馬の手紙 | 石丸美穂子(参事)、宮川聖子(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア | 44名 |
| 2 | 6月11日(日) | なりきりコレクション | 石丸美穂子(参事)、金子岳史(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア | 37名 |
| 3 | 7月30日(日) | バックヤード探検&ミニ展示室づくり | 石丸美穂子(参事)、林田龍太(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア | 35名 |
| 4 | 8月20日(日) | モネはターナーから何を学んだ? | 石丸美穂子(参事)、岡田真梨子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア | 65名 |
| 5 | 10月29日(日) | まねしてまなぶ 伊藤若冲ってどんな人? | 石丸美穂子(参事)、金子岳史(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア | 69名 |
| 合計 | | | | 250名 |

夏の特別イベント

| 期日 | テーマ | 参加者 |
|----------|----------------------------------|------|
| 8月12日(土) | んまつーポスダンス観戦 in 熊本県立美術館 (ワークショップ) | 10名 |
| 8月13日(日) | んまつーポスダンス観戦 in 熊本県立美術館 (公演) | 120名 |
| 合計 | | 130名 |

出張授業及び研修等

| | 期 日 | 内 容 | 担 当 者 | 場 所 |
|----------------------------|--------------------------|---|-------------------------|---------------|
| 出 張 ・ 講 座 等 | 1 4月3日(月)、 4月4日(火) | 「震災と復興のメモリー@熊本」作品借用業務 | 有木 芳隆 | 宮内庁 |
| | 2 4月4日(火)、 4月5日(水) | 「夢の美術館展」作品点検業務 | 岡田真梨子 | 長崎県美術館 |
| | 3 4月12日(水) | 日本橋高島屋「熊本城と加藤・細川展」開会式出席 | 田崎 龍一 金子 岳史 | 日本橋高島屋 |
| | 4 4月20日(木) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 熊本市西区花園 |
| | 5 5月13日(土) | 熊本大学永青文庫研究センター講演会 | 山田 貴司 | 熊本大学工学部百周年記念館 |
| | 6 5月18日(木) ～20日(土) | 鹿児島県仏像調査指導 | 有木 芳隆 | 鹿児島県 |
| | 7 5月21日(日) ～28日(日) | 「土佐の龍馬、肥後の小楠展」、「震災と復興のメモリー@熊本」、「大熊本県立美術館展リターンズ」に係る作品借用・返却業務 | 有木 芳隆 山田 貴司 宮川 聖子 | 岡山県立美術館、永青文庫他 |

| | | | | | |
|----------------------------|----|----------------------|-------------------------------|-------------------------|------------------------|
| 出 張 ・ 講 座 等 | 8 | 5月26日(金) | 全国美術館会議 理事会・総会等 | 田崎 龍一 | 神奈川県立近代美術館 |
| | 9 | 5月31日(水) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 金子 岳史 | 博物館ネットワークセンター |
| | 10 | 6月3日(土) ～7日(水) | 成田克彦・佐々木耕成展関連調査 | 林田 龍太 岡田真梨子 | 東京、千葉、群馬 |
| | 11 | 6月19日(月) ～21日(水) | 松井文庫古文書調査 | 宮川 聖子 | 八代市立博物館 |
| | 12 | 6月20日(火) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 熊本市中央区坪井 |
| | 13 | 6月28日(水) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 熊本市北区清水万石 |
| | 14 | 7月6日(木) ～8日(土) | 鹿児島県仏像調査指導 | 有木 芳隆 | 鹿児島市他 |
| | 15 | 7月25日(火) ～28日(金) | 「横井小楠とその時代」関連調査 | 宮川 聖子 | 京都市歴史資料館、 福井県立図書館、他 |
| | 16 | 8月2日(水) | 文化財レスキュー燻蒸準備作業 | 山田 貴司 宮川 聖子 | 氷川保管庫 |
| | 17 | 8月9日(水) | 海外アーティスト招聘事業 in 阿蘇 選考審査会 | 村上 哲 | 阿蘇地域振興局 |
| | 18 | 8月30日(水) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 熊本市北区清水万石 |
| | 19 | 9月15日(金) ～17日(日) | 東大共同研究に係る研究会、史跡巡見 | 山田 貴司 | 東大史料編纂所、 福島県内史跡 |
| | 20 | 9月17日(日) ～21日(木) | 「大熊本県立美術館展リターンズ」作品返却・ 資料撮影 | 有木 芳隆 山田 貴司 宮川 聖子 | 永青文庫 |
| | 21 | 9月18日(月) ～22日(金) | 佐々木耕成展関連調査 | 林田 龍太 | 東京、大阪ほか |
| | 22 | 10月5日(木) ～7日(土) | 東大共同研究及び展覧会企画に係る調査、 研究会 | 山田 貴司 | 松浦資料博物館、九州大学 |
| | 23 | 10月5日(木) ～7日(土) | 高千穂町仏像調査指導 | 有木 芳隆 | 宮崎県高千穂町 |
| | 24 | 10月14日(土)、 15日(日) | 熊本日日新聞社公募美術展「描く力」作品 審査会 | 村上 哲 | 熊本日日新聞社、崇 城大学芸術学部 |
| | 25 | 10月21日(土) | 黎明会シンポジウム「鹿児島と九州の仏像」 | 有木 芳隆 | 鹿児島県歴史資料セ ンター黎明館 |
| | 26 | 10月28日(土)、 29日(日) | 京都国立博物館防災関係シンポジウム及び 作品調査 | 山田 貴司 宮川 聖子 | 京都国立博物館 |
| | 27 | 10月28日(土)、 29日(日) | 宮崎市美術展審査会 | 林田 龍太 | みやざきアートセン ター |
| | 28 | 10月31日(火) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 清水亀井町 |
| | 29 | 11月11日(土) ～12日(日) | 宮崎市美術展講評会 | 林田 龍太 | みやざきアートセン ター |
| | 30 | 11月15日(水) | 立花家史料館講演会 | 宮川 聖子 | 柳川・立花家史料館 |
| | 31 | 11月16日(木) | 佐賀県博物館連絡協議会研修会講演 | 村上 哲 | 佐賀県立九州陶磁文 化館 |

| | | | | | |
|--------|----------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|-----------------|
| 出張・講座等 | 32 | 11月17日(金) ～19日(日) | 国際コロキウム「移動する画家と東アジア近代美術の形成」報告 | 林田 龍太 | 福岡アジア美術館 |
| | 33 | 11月25日(土) | 山江村講演会「山江の仏像」 | 有木 芳隆 | 山江村農村環境改善センター |
| | 34 | 11月29日(水) | 八代市立東陽中学校出張授業 | 石丸美穂子 | 八代市立東陽中学校 |
| | 35 | 12月2日(土) | 東大共同研究シンポジウム「戦国<大敗>の歴史学」報告 | 山田 貴司 | 東京大学 |
| | 36 | 12月9日(土) | 第24回日本高校生デザイングランプリ表彰・講演 | 村上 哲 | 熊本デザイン専門学校 |
| | 37 | 12月11日(月) ～13日(水) | 「細川ガラシャ展」、「佐々木耕成展」に係る調査撮影 | 山田 貴司 林田 龍太 | 大阪他 |
| | 38 | 12月17日(日) | 「横井小楠とその時代」展に係る調査撮影 | 山田 貴司 宮川 聖子 | 鹿児島県歴史資料センター黎明館 |
| | 39 | 12月25日(月) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 | 熊本市清水八景水谷 |
| | 40 | 1月16日(火) | 文化財レスキュー | 有木 芳隆 才藤あずさ | 熊本市北区兎谷 |
| | 41 | 1月24日(水) ～26日(金) | 永青文庫所蔵資料調査 | 才藤あずさ 宮川 聖子 高森 莊子 | 永青文庫 |
| | 42 | 2月3日(土) | 肥後の里山ギャラリー講演会 | 山田 貴司 | 肥後の里山ギャラリー |
| | 43 | 2月5日(月) | 熊本市現代美術館収集審査委員会 | 村上 哲 | 熊本市現代美術館 |
| | 44 | 2月10日(土)、 11日(日) | 滋賀県アールブリュット国際フォーラム | 村上 哲 | 滋賀県大津市 |
| | 45 | 2月23日(金) ～25日(日) | 宮崎県文化財指定候補仏像調査 | 有木 芳隆 | 宮崎市、西都市他 |
| 46 | 3月18日(日) | 愛媛大科研シンポジウム「中世後期の都鄙関係」報告 | 山田 貴司 | 大正大学 | |
| 47 | 3月20日(火) | 鹿児島県文化財保護審議会 | 有木 芳隆 | 鹿児島県庁 | |
| 研修等 | 1 | 10月19日(木)、 20日(金) | 九州博物館協議会研修会 | 岡田真梨子 | 大分県立美術館他 |
| | 2 | 10月23日(月) ～27日(金) | 文化庁企画展示取扱セミナー | 山田 貴司 | 京都国立博物館 |
| | 3 | 11月29日(水) | 熊本県博物館連絡協議会専門研修会 | 山田 貴司 宮川 聖子 | 熊本市塚原歴史民俗資料館 |

□ミュージアムセミナー ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

| 回 | 期 日 | テ ー マ | 講 師 | 参加者数 |
|---|----------|------------------|-------------|---------|
| 1 | 5月14日(日) | 発見!横井小楠の新出書簡 | 主任学芸員 宮川 聖子 | 131名 |
| 2 | 6月24日(土) | 細川家伝来の大名調度 | 主任学芸員 才藤あずさ | 24名 |
| 3 | 8月5日(土) | もっと外へー風景画のあゆみ | 学芸員 岡田真梨子 | 41名 |
| 4 | 8月26日(土) | モネとロンドンー光は海峡を越えて | 学芸課長 村上 哲 | 108名 |
| 5 | 11月4日(土) | 江戸時代絵画史における“京都” | 主任学芸員 金子 岳史 | 59名 |
| | | | | 合計 363名 |

□学芸員の深イ話ー熊本県立美術館公開講座ー

| 回 | 期 日 | テ ー マ | 講 師 | 参加者数 |
|---|----------|-------------------------------------|-------------|-------------------|
| 1 | 1月13日(土) | 細川ガラシャ、最期の日 | 学芸課参事 山田 貴司 | 41名 |
| | | 総合芸術ってなんだ? ー日本、ヨーロッパの夢みた「新しい美術」ー | 学芸員 岡田真梨子 | |
| 2 | 1月27日(土) | 仏像の履歴書 ーほとけ様の墨書からみえてくるものー | 学芸課主幹 有木 芳隆 | 32名 |
| | | 佐々木耕成と〈ジャックの会〉 ーその活動と展開ー | 主任学芸員 林田 龍太 | |
| 3 | 2月10日(土) | 幕末維新期の思想家・横井小楠 | 主任学芸員 宮川 聖子 | 21名 |
| | | 大名道具コレクションの特色 | 主任学芸員 才藤あずさ | |
| | | | | ※先着 50名で実施 合計 94名 |

□実技講座

| 期 日 | 講座内容 | 講 師 | 参加者数 |
|--|---|----------------------|------|
| 10月17日(火)～20日(金) 10月24日(火)～27日(金) (全8日間) | 「伊藤若冲展」関連講座(日本画講座) 日本画(模写)制作体験+展覧会ギャ ラリートーク | 日本画家 浮島館主宰 大塚 浩平氏 | 10名 |
| ※「日本画」講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。 | | | |

□学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

| 期 日 | 実習生所属大学等 | 実習生数 | 場 所 | 担 当 |
|---------------------------|---|------|------------|--------------------------------|
| 8月24日（木） ～ 8月30日（水） | 熊本大学・崇城大学・学習院大学・ 立命館大学・筑波大学・沖縄県 立芸術大学に在籍する大学生 | 11名 | 本館 会議室等 | 才藤 あずさ （学芸課主任学芸員） 他学芸課職員 |

□熊本市内中学校ナイスライ（職場実習） 事業協力

| 期 日 | 学 校 | 担 当 | 場 所 | 参加者数 |
|---------------------|----------------------|--------|--------------------|------|
| 9月12日（火） ～14日（木） | 熊本市立京陵中学校 2年生（2名） | 才藤あずさ他 | 会場受付、監視補助、教育普及業務補助 | 2名 |

□震災と復興のメモリー @ 熊本 開館記念シンポジウム

| 期 日 | テ ー マ | パネラー | 参加者数 |
|---------------------------|--------------------|--|------|
| 4月29日（土） （13:30～16:00） | 震災と復興の歴史を振り返る @ 熊本 | 熊本大学永青文庫研究センター 教授 稲葉 継陽 氏 九州大学大学院理学研究院附属地 震火山観測センター 教授 清水 洋 氏 熊本城調査研究センター 主幹 鶴嶋 俊彦 氏 | 107名 |

□講演会

| 期 日 | テ ー マ | 講 師 | 参加者数 |
|---------------------------|--------------------|------------------------------|------|
| 4月8日（土） （11:00～12:00） | 龍馬は今も生きている | 高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長 前田 由紀枝 氏 | 130名 |
| 5月6日（土） （13:30～15:00） | 坂本龍馬の手紙を読む ―その面白さ― | 京都国立博物館 学芸部 上席研究員 宮川 禎一 氏 | 217名 |
| 9月16日（土） （13:30～15:00） | 伊藤若冲と京の美術 | 細見美術館 館長 細見 良行 氏 | 163名 |

□平成 29 年度熊本県立美術館ボランティアの活動

■美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成 4 年に美術館友の会を母体としてスタートし、平成 5 年以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成 25 年度からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

平成 28 年度は 48 名が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。

◆美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とする。そのために、次の活動を行う。

- 美術館運営のための支援（作業・広報）活動。
- ワークショップ活動（教育普及）の支援活動。

■活動内容について

(1) 各グループでの活動（4 グループのいずれかに所属し活動する）

- ① 図書グループ
毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。
- ② 資料グループ
月 2 回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。
- ③ ポスターグループ
第 2 月曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。
- ④ 子ども美術館グループ
年に 4 回、前日の活動を合わせると 8 回活動し、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

(2) その他の活動（希望者による活動）

- ① 障がい者支援
【障がいのある方々の鑑賞デー】
本年度は、4 月 17 日（月）、8 月 28 日（月）、10 月 30 日（月）の 3 回開催。午前・午後の交替制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。
- ② 開局 90 年企画「出張！美術館コンサート in NHK 熊本」のサポート
ボランティアの希望を募って実施、会場整理等を行った。
- ③ 美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）
美術館のミュージアムセミナー、講演会に参加した。毎回 20 人程度が参加している。
- ④ 自主学習会
意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

□平成30年度 NHK・美術館コンサート記録

(開局90年企画「出張!美術館コンサート in NHK 熊本」として開催)

| 月 | 日 | 曜 | 時 間 | 出 演 団 体 | 曲 目 | 場 所 |
|---|---|---|---------------------|---|--|----------------------|
| 2 | 3 | 土 | 午後2:00 ～ 3:15 | 田尻 大喜 (トランペット) 上田 凜子 (ピアノ) 那須 寛史 (クラシックギター) | Into the blue 桃尻大喜 作曲 ヴォカリーズ ラフマニノフ 作曲 亜麻色の髪乙女 ドビュッシー 作曲 Life 桃尻大喜 作曲 両手広げて 桃尻大喜 作曲 即興音楽 人魚日和 熊本地震復興支援曲 YELL ～君と明日へと～ | NHK熊本放送局 (汎用スタジオ) |

IV 資料

■観覧者状況及び事業報告

□年度別入館者数

| 年 度 | 主催・共催展 | | | | 貸 会 場 | | | | 計 | | | |
|--------|--------|--------|-----------|--------------|-------|--------|-----------|--------------|-------|--------|------------|--------------|
| | 回数 | 日数 | 入場者数 | 1日平均 入場者数 | 回数 | 日数 | 入場者数 | 1日平均 入場者数 | 回数 | 日数 | 入場者数 | 1日平均 入場者数 |
| 昭和50年度 | 1 | 19 | 23,507 | 1,237 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 19 | 23,507 | 1,237 |
| 昭和51年度 | 18 | 412 | 302,395 | 734 | 17 | 101 | 46,471 | 460 | 35 | 513 | 348,866 | 680 |
| 昭和52年度 | 14 | 350 | 89,775 | 257 | 25 | 158 | 58,426 | 370 | 39 | 508 | 148,201 | 292 |
| 昭和53年度 | 18 | 438 | 205,025 | 468 | 19 | 137 | 76,183 | 556 | 37 | 575 | 281,208 | 489 |
| 昭和54年度 | 18 | 379 | 136,566 | 360 | 25 | 139 | 45,824 | 330 | 43 | 518 | 182,390 | 352 |
| 昭和55年度 | 16 | 365 | 110,593 | 303 | 24 | 173 | 61,261 | 354 | 40 | 538 | 171,854 | 319 |
| 昭和56年度 | 18 | 412 | 105,317 | 256 | 26 | 186 | 55,464 | 298 | 44 | 598 | 160,781 | 269 |
| 昭和57年度 | 15 | 433 | 182,457 | 421 | 25 | 162 | 50,476 | 312 | 40 | 595 | 232,933 | 391 |
| 昭和58年度 | 16 | 389 | 119,773 | 308 | 24 | 182 | 60,385 | 332 | 40 | 571 | 180,158 | 316 |
| 昭和59年度 | 16 | 398 | 103,005 | 259 | 25 | 155 | 47,687 | 308 | 41 | 553 | 150,692 | 272 |
| 昭和60年度 | 15 | 402 | 80,805 | 201 | 24 | 180 | 89,936 | 500 | 39 | 582 | 170,741 | 293 |
| 昭和61年度 | 16 | 438 | 137,798 | 315 | 28 | 186 | 48,321 | 260 | 44 | 624 | 186,119 | 298 |
| 昭和62年度 | 17 | 452 | 204,621 | 453 | 26 | 177 | 67,769 | 383 | 43 | 629 | 272,390 | 433 |
| 昭和63年度 | 18 | 436 | 143,992 | 330 | 25 | 170 | 76,406 | 449 | 43 | 606 | 220,398 | 364 |
| 平成元年度 | 18 | 493 | 192,916 | 391 | 25 | 191 | 71,004 | 372 | 43 | 684 | 263,920 | 386 |
| 平成2年度 | 16 | 458 | 182,813 | 399 | 27 | 205 | 115,017 | 561 | 43 | 663 | 297,830 | 449 |
| 平成3年度 | 16 | 435 | 182,231 | 419 | 26 | 172 | 58,675 | 341 | 42 | 607 | 240,906 | 397 |
| 平成4年度 | 15 | 506 | 137,320 | 271 | 31 | 223 | 65,103 | 292 | 46 | 729 | 202,423 | 278 |
| 平成5年度 | 22 | 690 | 153,677 | 223 | 104 | 669 | 162,734 | 243 | 126 | 1,359 | 316,411 | 233 |
| 平成6年度 | 19 | 565 | 198,610 | 352 | 119 | 789 | 193,628 | 245 | 138 | 1,354 | 392,238 | 290 |
| 平成7年度 | 18 | 553 | 218,537 | 395 | 138 | 887 | 221,809 | 250 | 156 | 1,440 | 440,346 | 306 |
| 平成8年度 | 17 | 452 | 210,043 | 465 | 92 | 622 | 164,596 | 265 | 109 | 1,074 | 374,639 | 349 |
| 平成9年度 | 13 | 363 | 68,225 | 188 | 130 | 801 | 189,534 | 237 | 143 | 1,164 | 257,759 | 221 |
| 平成10年度 | 16 | 570 | 103,579 | 182 | 137 | 889 | 172,409 | 194 | 153 | 1,459 | 275,988 | 189 |
| 平成11年度 | 14 | 479 | 163,538 | 341 | 158 | 982 | 213,522 | 217 | 172 | 1,461 | 377,060 | 258 |
| 平成12年度 | 16 | 525 | 143,028 | 272 | 153 | 969 | 253,794 | 262 | 169 | 1,494 | 396,822 | 266 |
| 平成13年度 | 13 | 432 | 96,938 | 224 | 151 | 965 | 218,165 | 226 | 164 | 1,397 | 315,103 | 226 |
| 平成14年度 | 15 | 472 | 120,577 | 255 | 144 | 893 | 171,247 | 192 | 159 | 1,365 | 291,824 | 214 |
| 平成15年度 | 14 | 481 | 116,014 | 241 | 172 | 1,059 | 208,160 | 197 | 186 | 1,540 | 324,174 | 211 |
| 平成16年度 | 13 | 420 | 65,729 | 156 | 174 | 1,111 | 209,413 | 188 | 187 | 1,531 | 275,142 | 180 |
| 平成17年度 | 12 | 434 | 95,550 | 220 | 172 | 1,041 | 187,883 | 180 | 184 | 1,475 | 283,433 | 192 |
| 平成18年度 | 21 | 385 | 73,945 | 192 | 165 | 995 | 189,301 | 190 | 186 | 1,380 | 263,246 | 191 |
| 平成19年度 | 21 | 371 | 162,652 | 438 | 180 | 1,121 | 206,943 | 185 | 201 | 1,492 | 369,595 | 248 |
| 平成20年度 | 30 | 663 | 226,126 | 341 | 175 | 1,093 | 209,314 | 192 | 205 | 1,756 | 435,440 | 248 |
| 平成21年度 | 22 | 736 | 98,212 | 133 | 174 | 1,111 | 260,714 | 235 | 196 | 1,847 | 358,926 | 194 |
| 平成22年度 | 22 | 632 | 101,051 | 160 | 166 | 1,033 | 215,981 | 209 | 188 | 1,665 | 317,032 | 190 |
| 平成23年度 | 22 | 525 | 191,658 | 365 | 175 | 1,034 | 233,227 | 226 | 197 | 1,559 | 424,885 | 273 |
| 平成24年度 | 21 | 652 | 137,416 | 211 | 168 | 1,069 | 281,306 | 263 | 189 | 1,721 | 418,722 | 243 |
| 平成25年度 | 24 | 766 | 140,291 | 183 | 171 | 1,047 | 222,282 | 212 | 195 | 1,813 | 362,573 | 200 |
| 平成26年度 | 24 | 736 | 101,242 | 138 | 163 | 1,050 | 274,295 | 261 | 187 | 1,786 | 375,537 | 210 |
| 平成27年度 | 21 | 586 | 82,968 | 142 | 123 | 801 | 214,023 | 267 | 144 | 1,387 | 296,991 | 214 |
| 平成28年度 | 26 | 316 | 45,880 | 145 | 95 | 586 | 97,932 | 167 | 121 | 902 | 143,812 | 159 |
| 平成29年度 | 22 | 430 | 101,147 | 235 | 104 | 667 | 173,631 | 260 | 126 | 1,097 | 274,778 | 250 |
| 累 計 | 759 | 20,449 | 5,857,542 | 286 | 4,125 | 26,181 | 6,240,251 | 238 | 4,884 | 46,630 | 12,097,793 | 259 |

主・共催展覧観覧者状況

| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 当日 | | 小計 | 学共済組合 | 校友の会 一般 | 友の会 大学生 | 永青文庫 友の会 | アートサ ポーター ズの会 | 合計 | 高校生 | 中学生 | 小学生 | 未観学見 | 優待券 | ポストカード | 贈がい者 | その他 | 総計 | 一日平均 入場者数 | |
|---|------------------------------|----|-------|-----|-------|-------|------------|------------|-------------|---------------------|-------|--------------|------|------|----------|-------------|--------|--------|------|-------|--------------|--------------|
| | | | 一般 | 大学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第11期コレクション展 震災と復興のメモリー@熊本 | 4/14～5/21 | 35 | 3144 | 87 | 3231 | 49 | 51 | 3 | 8 | 0 | 3604 | 216 | 53 | 197 | 39 | 12 | 92 | 167 | 256 | 4636 | 132 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 第11期コレクション展 特集 今西コレクションの作品 常設 夜から朝へ 世紀末のロンドンとパリ | 5/20～7/2 (常設展示は 5/20～) | 38 | 628 | 44 | 672 | 0 | 11 | 4 | 10 | 0 | 1919 | 17 | 39 | 302 | 16 | 28 | 0 | 162 | 85 | 2568 | 68 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 第11期コレクション展 特集 源氏物語と王朝文化の美 | 9/9～11/12 | 57 | 4222 | 111 | 4333 | 0 | 47 | 175 | 9 | 0 | 4660 | 50 | 121 | 501 | 42 | 11 | 0 | 204 | 81 | 5670 | 99 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 開館40周年記念展 大熊本県立美術館展「ターナス | 7/15～9/3 | 46 | 10200 | 272 | 10472 | 0 | 153 | 269 | 16 | 0 | 11668 | 270 | 1531 | 682 | 153 | 40 | 237 | 600 | 376 | 15557 | 338 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (水俣市立築中学校) | 10/10 | 1 | 27 | 27 | 400 | 0 | 27 | 0 | 0 | 0 | 27 | 0 | 161 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 188 | 188 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (上尾市立築立小学校) | 10/12 | 1 | 50 | 50 | 1922 | 0 | 50 | 0 | 0 | 0 | 50 | 0 | 79 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 280 | 280 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (相模町立三浦和中学校) | 10/22 | 1 | 76 | 76 | 88 | 0 | 76 | 0 | 0 | 0 | 76 | 0 | 115 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 155 | 155 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (上尾市立阿村中学校) | 10/24 | 1 | 30 | 30 | 103 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 255 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 145 | 145 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (谷田市立高尾中学校) | 11/7 | 1 | 21 | 21 | 117 | 0 | 21 | 0 | 0 | 0 | 21 | 0 | 182 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 276 | 276 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (水戸市立築中中学校) | 11/10 | 1 | 17 | 17 | 17 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 199 | 199 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (水戸市立築初小学校) | 11/24 | 1 | 25 | 25 | 81 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 25 | 0 | 84 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 309 | 309 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (水戸市立築初小学校) | 12/2 | 1 | 84 | 84 | 124 | 0 | 84 | 0 | 0 | 0 | 84 | 0 | 110 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 194 | 194 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (駒形市立築初小学校) | 12/3 | 1 | 30 | 30 | 81 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 63 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 95 | 95 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| スタールミュージアム (生名市立築初小学校) | 12/10 | 1 | 41 | 41 | 120 | 0 | 41 | 0 | 0 | 0 | 41 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 希世聖徳園「原田知明作品展 2017 秋」 | 12/19 11/3 | 1 | 74 | 74 | 244 | 0 | 74 | 0 | 0 | 0 | 74 | 0 | 650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 674 | 674 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 合 計 | 4/8～5/14 | 34 | 2668 | 47 | 3378 | 0 | 265 | 861 | 24 | 0 | 7852 | 451 | 193 | 332 | 115 | 22 | 159 | 614 | 170 | 10172 | 299 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 当日 | | 小計 | 学共済組合 | 校友の会 一般 | 友の会 大学生 | 永青文庫 友の会 | アートサ ポーター ズの会 | 合計 | 高校生 (詳細性) | 中学生 | 小学生 | 未観 学見 | 招待券 (のり) | 優待券 | ポストカード | 贈がい者 | その他 | 総計 | 一日平均 入場者数 |
| | | | 一般 | 大学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土佐の龍馬、肥後の小幡 士佐の龍馬、肥後の小幡 | 4/8～5/14 | 34 | 2668 | 47 | 3378 | 0 | 120 | 286 | 0 | 0 | 7852 | 451 | 193 | 332 | 115 | 22 | 159 | 614 | 170 | 10172 | 299 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 当日 | | 小計 | 学共済組合 | 校友の会 一般 | 友の会 大学生 | 永青文庫 友の会 | アートサ ポーター ズの会 | 合計 | 高校生 (詳細性) | 中学生 | 小学生 | 未観 学見 | 招待券 (のり) | 優待券 | ポストカード | 贈がい者 | その他 | 総計 | 一日平均 入場者数 |
| | | | 一般 | 大学生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 若冲と京の美術 | 9/16～11/12 | 51 | 3814 | 117 | 3931 | 0 | 277 | 501 | 11 | 1 | 17126 | 39 | 196 | 1348 | 163 | 745 | 56 | 315 | 1047 | 300 | 21335 | 418 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 7/29～9/10 | 40 | 2948 | 430 | 3378 | 0 | 394 | 392 | 8 | 0 | 12031 | 30 | 1948 | 806 | 235 | 43 | 356 | 884 | 207 | 17126 | 428 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |
| 若冲と京の美術 | 9/16～11/12 | 51 | 3814 | 117 | 3931 | 0 | 277 | 501 | 11 | 1 | 17126 | 39 | 196 | 1348 | 163 | 745 | 56 | 315 | 1047 | 300 | 21335 | 418 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 7/29～9/10 | 40 | 2948 | 430 | 3378 | 0 | 394 | 392 | 8 | 0 | 12031 | 30 | 1948 | 806 | 235 | 43 | 356 | 884 | 207 | 17126 | 428 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 団体 |

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 主催者 | 内 容 | 入場者数 | 観覧料 |
|-------------------|------------|----|-----------------------|--|--------|---|
| 夢の美術館 ～めぐりあう名画たち～ | 4/11～5/28 | 44 | 株式会社 テレビ熊本 熊本県立美術館 | 福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション モネ、ルノワール、ドガ、シャガール、レオナルド・ダ・ヴィンチ 世界の巨匠の名品を展示。 | 13,695 | 一般・大学生 1,200円(1,000円) 小中高生 700円(500円) ()内は前売料金及び20名以上の 団体料金 |
| 第39回 熊本県日本画協会展 | 6/6～6/11 | 6 | 熊本県日本画協会 | 会員・会友・一般応募作品(日本画・水墨画)約200点の展示。 | 1,304 | 一般 300円 大学・高校生 200円 団体(20名以上)200円 |
| 第45回 熊本県美術家連盟展 | 6/13～6/18 | 6 | 熊本県美術家連盟 | 洋画(水彩・油絵・版画)、日本画、彫刻、工芸、デザインの展示。 | 1,043 | |
| 第36回 熊日新鋭・学童書道展 | 6/20～6/25 | 6 | 株式会社 熊本日日新聞社 | 入賞作品の展示。 | 1,271 | |
| 第83回 東光展 | 6/27～7/2 | 6 | 東光会 | 油彩・水彩・版画 30号・大作部門・・・巡回作品約60点、地元作品約70点の展示。 小品部門・・・巡回作品約10点、地元作品約20点の展示。 | 2,271 | 一般 500円 |
| イリュージョンの科学とアート展 | 7/15～7/23 | 9 | 星加民雄錯視芸術研究グループ | 錯視(視覚における錯覚)をキーワードとし、視点位置と視覚の変化など視点位置と見る角度によって視覚が変化する視覚芸術作品や視点移動、眼球運動に伴う錯視効果を表現の特長とする錯視アート、コンピューターやテクノロジーを活用した様々な角度から追求するイリュージョンの展示。 | 1,433 | |
| 第72回 県美展 | 9/20～9/24 | 5 | 熊本県美術協会 | 洋画(油彩、水彩、他)F20号～F100号の展示。 | 2,029 | 一般・大学生 500円 団体(10名以上)400円 |
| 堀文子展 | 9/28～11/12 | 41 | 株式会社 テレビ熊本 熊本県立美術館 | 九州初開催となる日本画家・堀文子の展覧会。独自の日本画のスタイルで命を描き続ける堀文子の作品を紹介し、その生き方と魅力に迫る展示。 | 6,283 | 一般・大学生 1,200円(1,000円) 小中高生 700円(500円) ()内は前売り及び20名以上の 団体料金 |
| 小 計 | | 38 | | | 9,351 | ・夢の美術館及び堀文子展の開催日数(85日)と入場者数(19,978名)は、主催・共催事業で計上しています。 |

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 主催者 | 内 容 | 入場者数 | 観覧料 |
|-----------------------------|-----------|-----|------------------|---|--------|--------------------------------------|
| 第8回韓々坂絵画教室作品展 | 6/6～6/11 | 6 | 韓々坂絵画教室 | 水彩、油彩等 80号～6号に至る約80点を展示 静物、風景、人物等 | 767 | |
| 第30回紅華会書作展 | 6/6～6/11 | 6 | 書道紅華会 | かな書道作品(40点～50点) 軸、額、パネル、巻、帖 など | 458 | |
| 第4回ヒーリングアート展 | 6/13～6/18 | 6 | ヒーリングアート実行委員会 | 油彩、水彩、日本画など多彩な表現手段での作品展示 ヒーリングアートとして「人の心の癒し」という観点に基づいての作品内容 | 389 | |
| 第29回熊工会美術展 | 6/13～6/18 | 6 | 熊工会美術展実行委員会 | ・作品 平面(油彩画、日本画、水彩画、水墨画、写真、デザイン、工芸作品等) 立体(建築パースデザイン、工芸作品等) ・点数 40点 ・出品者 25名 | 500 | |
| しらぬひ刺し子師弟展 | 6/20～6/25 | 6 | しらぬひ刺し子 | 着物、タペストリー、ドンザ、手さげ、ふろしき | 1,355 | |
| 第31回維熊篆会「書法篆刻展」・平方研水「喜寿記念展」 | 6/27～7/2 | 6 | 維熊篆会 | 篆刻作品、篆書、隷書作品 約70点 平方研水作品約30点 | 436 | |
| 熊本独立作家展 | 6/27～7/2 | 6 | 熊本独立作家 | 洋画100～130号 約30枚 | 780 | |
| 第16回熊本県水墨画協会展 | 7/4～7/9 | 6 | 熊本県水墨画協会 | 1 墨を主体とした水墨画 2 6号以上20号以下のアクリル使用額装 | 1,564 | |
| 第80回銀光展 | 7/11～7/17 | 7 | 銀光会 | 銀光会会員、会友の作品 公募展として一般の作品(入選作品のみ) 具象絵画を基盤とし、熊本で最古の公募展で約240点個性的創造的な作品展示 | 3,737 | 一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料 |
| '17グループ香書作展 | 7/19～7/23 | 5 | グループ香 | 額、軸、パネル、屏風、巻、帖等による仮名・調和体の展示 | 417 | |
| 清和条幅展・七夕展 | 7/19～7/23 | 5 | 清和書道会 | 条幅作品(半切)20点 七夕作品(半紙)600点 入賞以上の作品 | 383 | |
| エヴァンゲリオンと日本刀展 | 7/27～8/20 | 22 | ㈱KAB九州朝日放送 | 現代刀匠たちが「エヴァンゲリオン劇場版」の世界からインスピレーションを受けて挑んだ新作の刀を展示 | 21,580 | 一般・大学生1000円 中・高生 700円 小学生 500円 |
| 第29回熊本県シルバー作品展 | 8/22～8/27 | 6 | 一般財団法人熊本さわやか長寿財団 | 日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門を展示 | 2,569 | |
| 第45回九州新象展 | 8/29～9/3 | 6 | 九州新象作家協会 | 九州在住の新象展出品者と全国からの新象展出品の優秀作家の作品を展示 出品点数約50点 | 466 | |
| 熊本の建築家作品展 | 8/29～9/3 | 6 | 日本建築家協会九州支部熊本地域会 | 在熊建築家の建築作品のパネル展示 20作品程度 その他企画展(建築に係る) | 320 | |
| 第39回熊本県書道展 | 9/5～9/10 | 6 | 熊本書法文化振興会 | 熊本書法文化振興会の会員・準会員の作品約80点 無鑑査、会友、公募の作品約300点を展示 | 1,035 | |
| 第28回選抜茶掛展 | 9/12～9/18 | 7 | 国際文化交流会 | 各団体(社中)から推薦され、本会から委嘱した出品者の掛軸様式の書作品約80点を展示 | 391 | |
| 第19回済美展 | 9/12～9/18 | 7 | 第19回済美展実行委員会 | 済々黌卒業の絵画作者、写真家並びに書道家等の作品及び旧職員の作品を展示 | 587 | |
| 第72回熊本県美術協会展(県美展) | 9/20～9/24 | 5 | 熊本県美術協会 | 日本画、版画、彫刻、工芸作品の展示 | 2,449 | 一般・大学生500円 高校生以下無料 |
| 第44回熊本県書道連盟展 | 9/26～10/1 | 6 | 熊本県書道連盟 | 熊本県書道連盟会員による漢字・かな・篆刻・大字書・調和体など書道の全分野に亘る作品約250点 | 881 | |
| 計 | | 136 | | | 41,064 | |

分館(展示室1・2・3)

貸会場事業報告及び観覧者状況

| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 主催者 | 内 容 | 入場者数 | 観覧料 |
|--|-------------|-----|----------------------|--|---------|--|
| 第46回熊本県立第二高等学校美術科制作展 | 10/3～10/9 | 7 | 熊本県立第二高等学校美術科 | 油彩、デザイン、彫刻、立体 授業及び部活動作品 | 1,055 | |
| 第58回熊日写真展 | 10/3～10/9 | 7 | 熊本日日新聞社事業局 | 熊日賞の部98点、新人の部11点、計109点に招待作家作品を加えて展示 | 1,493 | |
| 「くまもと障がい者芸術展」 | 10/3～10/9 | 7 | くまもとハートワーク実行委員会 | 障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 | 1,867 | |
| 第44回学生学童書道展 | 10/11～10/15 | 5 | 国際文化交流会 | 熊本県の小・中・高および大学生の書道展 | 2,617 | |
| 第52回熊本県水彩画会展 | 10/17～10/22 | 6 | 熊本県水彩画会 | 一般公募作品と会員・会友作品を約300点展示する水彩画だけの展覧会である | 5,234 | |
| NHKカルチャー教室受講者合同作品展 | 10/24～10/29 | 6 | NHK文化センター熊本支社 | NHK文化センター熊本受講者一人1点の出品 約1000人で1000点 出品内容は絵画、手工芸、書、俳句等 | 4,370 | |
| 第42回熊本県高等学校美術展 第20回熊本県高等学校写生大会優秀作品展 | 10/31～11/5 | 6 | 熊本県高等学校文化連盟美術専門部 | 熊本県高等学校美術部作品 絵画、デザイン、彫刻、立体、工芸 | 2,713 | |
| 第53回熊本県高等学校書道展 | 11/7～11/12 | 6 | 熊本県高等学校文化連盟書道専門部 | 県内の高校生の作品約250点を展示。内容は臨書・創作、書体は楷書・行書・草書・隸書・篆書・仮名・漢字仮名交じり書などバラエティに富む。教職員作品約50点も展示 | 2,294 | |
| 水俣病展 2017 | 11/16～12/10 | 22 | 認定NPO法人水俣フォーラム | 「公害の原点」「環境問題の象徴」といわれる水俣病についての展覧会 水俣病60年を機に20年ぶりにリニューアル初公開 写真や映像、様々な実物や文献、遺影で構成 | 22,709 | 一般 1200円 大高生 800円 中小生 300円 小学校4年生以下無料 |
| くまもと「描く力」2017-熊日美術公募展- | 12/12～12/17 | 6 | 熊本日日新聞社事業局 | 県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示 | 3,973 | |
| 第58回熊日書道展 | 12/19～12/24 | 6 | 熊本日日新聞社事業局 | 漢字、かななど7部門の応募作品から審査を通過した入選以上の約200点と本展の委嘱作家及び無鑑査の約60点の合計260点を展示 | 3,245 | 中学生以上 300円 |
| 第20回玄泉全国書道展 | 1/5～1/8 | 4 | 玄泉書道会 | ・日展会友 入選作家・玄泉成家 師範他・展示作品の種類 2×8尺(額) 2.6×6尺(額) 半切(軸) 小作品(軸) 他 | 1,832 | |
| 第40回尚綱大学書道展 | 1/10～1/14 | 5 | 尚綱大学 | 漢字各書体及び、仮名の臨書、創作、倣書や篆刻、刻字、水墨画、漢字仮名交じり書など約40点と併催として卒業生作品展を開催し約40点の作品を展示 | 747 | |
| 第71回熊日学童スケッチ展 | 1/10～1/14 | 5 | 熊本日日新聞社事業局 | 小・中学生から募集した絵画作品の熊日賞、熊本県知事賞、熊本市賞、果実連賞ほか各学年の天・地・人賞、奨励賞合わせて369点を展示 | 928 | |
| ウィリアム・メレル・ヴォーリズ展 | 1/16～1/21 | 6 | 熊本YMCA | ウィリアム・メレル・ヴォーリズに関するパネル・建築図面などを展示 | 1,011 | |
| 第15回熊本市立必由館高校芸術コース美術・書道系卒業制作展 | 1/16～1/21 | 6 | 熊本市立必由館高等学校美術科書道科 | ・美術系 3年生の卒業制作約40点 デッサン・デザイン・小作品約15点 油彩・水彩の小作品約20点 賛助出品6点 ・書道系 3年生の卒業制作約40点 賛助出品6点 | 1,230 | |
| 第37尚綱大学卒業書作展 | 1/23～1/28 | 6 | 尚綱大学 | 本学書道コース4年生が4年間の集大成として卒業書作展を開催 学生作品 教職員の作品合わせて約40点を展示 | 611 | |
| 第12回しんか展 | 1/23～1/28 | 6 | 熊本パイロットクラブ | 全国の脳関連障がいのある方が描かれた絵画約60点 | 298 | |
| 創元会熊本支部展 | 1/23～1/28 | 6 | 創元会熊本支部 | 一般社団法人創元会熊本支部作品(絵画)展 | 732 | |
| 第15回くまもと子どもの美術展 | 1/30～2/4 | 6 | 熊本県図画工作美術教育研究会 | 熊本県下の小・中学生の平面作品を1400点余り展示 | 3,812 | |
| 第8回墨彩画無窮会展 | 1/30～2/4 | 6 | 墨彩画無窮会 | 水墨画、墨彩画にて花鳥、山水画等を掛軸・額装にて50点ほど展示 | 1,039 | |
| うえきアート展 | 1/30～2/4 | 6 | うえきアート | 絵画50点、書道15点、写真25点展示 | 1,397 | |
| 第23回熊本デザイン専門学校卒業制作展 第24回日本高校生デザイングランプリ作品展 | 2/6～2/12 | 7 | 熊本デザイン専門学校 | ・第23回熊本デザイン専門学校卒業制作展 グラフィック、建築、インテリア、映像、ファッション等の学生卒業制作作品約200点を展示 ・第24回日本高校生デザイングランプリ作品展 県内外の高校生の上位入賞者、入選、佳作 平面、立体、映像、写真等作品約200点を展示 | 1,581 | |
| 第29回大津高校美術コース卒業制作展(第70回陽美展) | 2/14～2/18 | 5 | 熊本県立大津高等学校美術コース | 油彩、水彩、デザイン、立体等 作品約100点を展示 3年生は卒業制作、1・2年生は授業等で制作した優秀作品を展示 | 492 | |
| 第27回書初め席書展 | 2/14～2/18 | 5 | 国際文化交流会 | 書初め会で書かれた学生学童の書作品を掛軸にして展示 | 199 | |
| 第16回フォト千葉城写真展 | 2/14～2/18 | 5 | フォト千葉城 | 自然、風景スナップ、動物、植物、スポーツなど約60点 全紙サイズで展示 | 642 | |
| 崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展 | 2/20～2/25 | 6 | 学校法人君ヶ淵学園崇城大学 | 平面絵画、立体、デザイン作品、映像、写真、インスタレーション等約90点の展示 芸術学部第15期生の卒業展、芸術研究科の第13期生の修了展となる | 2,510 | |
| 第31回国際文化交流会選抜臨書展 | 2/27～3/4 | 6 | 国際文化交流会 | 半切額 半紙額 2尺×8尺額(縦、横) 帖等 約90点 | 391 | |
| 第28回尚美展 | 2/27～3/4 | 6 | 尚綱大学尚美展 | 尚綱大学短期大学部および尚綱大学の美術部学生による展覧会 出品は美術部部員約20名を中心に美術部のOGや写真部など芸術系サークルの学生、芸術活動を愛好している本学の教職員となる 作品の種類は油彩や水彩を中心にペン画、写真などの平面作品や各種粘土を使用した立体作品を約40点展示 | 355 | |
| 日洋会熊本支部展 | 2/27～3/4 | 6 | 日洋会熊本支部 | 油彩、水彩、ペン画 F50号～F100号約30点を展示 | 1,026 | |
| 熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作作品展 | 3/6～3/11 | 6 | 熊本大学教育学部美術科 | 油彩画などの絵画(約20点) 人物をモチーフとした彫刻(約5点) デザイン(約4点) 美術教育、美術史、美術理論に関する研究論文の発表(約5点) | 480 | |
| 熊本大学教育学部美術科在科生展 | 3/6～3/11 | 6 | 熊本大学教育学部美術科 | 絵画(油彩画等)・彫刻・デザイン 美術教育・美術史・美術理論に関する論文等 作品約25点 | 428 | |
| 熊本大学教育学部美術科同窓会展 | 3/6～3/11 | 6 | 熊本大学教育学部美術科同窓会 | 絵画、彫刻、デザイン等 約50点 | 556 | |
| 一般社団法人二科会写真部九州・沖縄地区公募展展示会 | 3/13～3/18 | 6 | 一般社団法人二科会写真部 熊本支部 | 写真全紙 パネル貼り、額仕上げ 合計約500点 | 2,776 | |
| 第34回美術文化熊本支部展 | 3/20～3/25 | 6 | 美術文化協会熊本支部 | 油絵、アクリル画 約40点展示 | 888 | |
| 第21回のびる油彩展 | 3/20～3/25 | 6 | のびる | 熊本市大江公民館油絵講座生によるグループ展 | 850 | |
| 二科熊本支部絵画展 | 3/20～3/25 | 6 | 二科熊本支部(絵画部門) | 国立新美術館(東京六本木)で開催された第101回及び第102回二科展に出品し受賞及び入選し国立新美術館に展示された洋画の大作を中心に展示 | 1,578 | |
| 遊美塾写真展 | 3/27～4/1 | 6 | 遊美塾 | パネル貼りした写真の展示 約300点 | 716 | |
| 第59回アマチュア絵画展 | 3/27～4/1 | 6 | 熊本県アマチュア絵画連盟 | 油彩 水彩 版画 水墨画 260点 | 1,627 | |
| 計 | | 246 | | | 82,302 | |
| 合計 | | 382 | | | 123,366 | |

分館（ギャラリー）

貸会場事業報告及び観覧者状況

| 展覧会名 | 期日 | 日数 | 主催者 | 内容 | 入場者数 | 観覧料 |
|---------------------------|-------------|-----|----------------------|--|--------|--|
| 第39回虹の会版画展 | 6/6～6/11 | 6 | 虹の会 | 虹の会会員14名による新作版画の展示及び交流団体「きつつきの会」（竹田市）の作品展示も行う | 706 | |
| 松村亘ペン画展 | 6/13～6/18 | 6 | 松村亘 | 平面作品 40点 | 522 | |
| 第5回三嶋書展 | 6/20～6/25 | 6 | 三嶋会 | 「いのち」をモチーフにして取り組んだ書作品を展示 ・楷行草篆隸の各書体 仮名 調和体等 表現多様 ・篆刻 日本画と書表現など三人三様 | 481 | |
| Fアトリエ展（二子石教室展） | 6/27～7/2 | 6 | Fアトリエ | 油彩約50点 4号～100号 | 841 | |
| 写団あけぼの会第43回写真展「野の花」と「風景」 | 7/4～7/9 | 6 | 写団あけぼの会 | 野山に自生する「野の花」の接写を四つ切額入りにて約50点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示 | 590 | |
| 第80回銀光展 | 7/11～7/17 | 7 | 銀光会 | 銀光会会員、会友の作品 公募展として一般の作品（入選作品のみ） 具象絵画を基盤とし、熊本で最古の公募展で約240点個性的創造的な作品展示 | 1,950 | 一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料 |
| 写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影合同展 | 7/19～7/23 | 5 | 写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影 | 写真（カラー モノクロ） 全紙16点 A3ノビ 48点 一人4点16名 合計64点 | 625 | |
| そよ風会（日本画教室） | 7/25～7/30 | 6 | そよ風会（日本画教室） | 日本画 | 474 | |
| 熊本県庁友会文化作品展 | 8/1～8/6 | 6 | 一般社団法人熊本県庁友会 | 絵画（日本画・洋画） 写真 書 工芸作品（陶芸 ガラス工芸 木竹工芸等） | 653 | |
| 「茜」油絵サークル展 | 8/8～8/13 | 6 | 「茜」油絵サークル | 具象画の油絵展 風景 静物 人物等でF6～F50号の多彩な作品 約30点の展示 | 680 | |
| 第30回GROUP -愚-作品展 | 8/15～8/20 | 6 | GROUP -愚- | 書作品約20点 | 658 | |
| 第29回熊本県シルバー作品展 | 8/22～8/27 | 6 | 一般財団法人熊本さわか長寿財団 | 日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門を展示 | 1,308 | |
| アポア会展 熊本県薬剤師会美術同好会 | 8/29～9/3 | 6 | 熊本県薬剤師会美術同好会 | 油絵等 | 332 | |
| 第39回熊本県書道展 | 9/5～9/10 | 6 | 熊本書法文化振興会 | 熊本書法文化振興会の会員・準会員の作品約80点 無鑑査、会友、公募の作品約300点を展示 | 622 | |
| 第23回キヤノンフォトクラブ熊本写真展 | 9/12～9/18 | 7 | キヤノンフォトクラブ熊本 | 半切額装約50点 全紙額装約10点 全倍（パネル）約10点 | 722 | |
| 第72回熊本県美術協会展（県美展） | 9/20～9/24 | 5 | 熊本県美術協会 | 日本画、版画、彫刻、工芸作品の展示 | 1,255 | |
| 第9回パソコン・アート展 | 9/26～10/1 | 6 | 熊本パソコン・アート倶楽部 | 家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩画風な絵を作成 浮世絵や季節をテーマにした風景画を展示 ①額入り A1サイズ20点 ②額入り A2サイズ20点 ③額入り A3サイズ20点 | 260 | |
| くまもと障がい者芸術展 | 10/3～10/9 | 7 | くまもとハートウィーク実行委員会 | 障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 | 1,626 | |
| 第44回学生学童書道展 | 10/11～10/15 | 5 | 国際文化交流会 | 熊本県の小・中・高および大学生の書道展 | 994 | |
| 第52回熊本県水彩画会展 | 10/17～10/22 | 6 | 熊本県水彩画会 | 一般公募作品と会員・会友作品を約300点展示する水彩画だけの展覧会である | 1,575 | 一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料 |
| NHKカルチャー教室受講者合同作品展 | 10/24～10/29 | 6 | NHK文化センター熊本支社 | NHK文化センター熊本受講者一人1点の出品 約1000人で1000点 出品内容は絵画、手工芸、書、俳句等 | 1,308 | |
| 第42回熊本県高等学校美術展 | 10/31～11/5 | 6 | 熊本県高等学校文化連盟美術専門部 | 熊本県高等学校美術部作品 絵画、デザイン、彫刻、立体、工芸 | 831 | |
| 第20回熊本県高等学校写生大会優秀作品展 | | | | | | |
| 第53回熊本県高等学校書道展 | 11/7～11/12 | 6 | 熊本県高等学校文化連盟書道専門部 | 県内の高校生の作品約250点を展示。内容は臨書・創作、書体は楷書・行書・草書・隸書・篆書・仮名・漢字仮名交じり書などバラエティに富む。教職員作品約50点も展示 | 841 | |
| 水俣病展2017 | 11/16～12/10 | 22 | 認定NPO法人水俣フォーラム | 「公害の原点」「環境問題の象徴」といわれる水俣病についての展覧会 水俣病60年を機に20年ぶりにリニューアル初公開 写真や映像、様々な実物や文献、遺影で構成 | 7,694 | 一般 1200円 大高生 800円 中小生 300円 小学校4年生以下無料 |
| くまもと「描く力」2017 - 熊日美術公募展 - | 12/12～12/17 | 6 | 熊本日日新聞社事業局 | 県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示 | 1,541 | |
| 第58回熊日書道展 | 12/19～12/24 | 6 | 熊本日日新聞社事業局 | 漢字、かななど7部門の応募作品から審査を通過した入選以上の約200点と本展の委嘱作家及び無鑑査の約60点の合計260点を展示 | 975 | 中学生以上 300円 |
| 七人展～the 4th～Fermata | 1/5～1/8 | 4 | 七人展 | 写真5名 書1名 インスタレーション1名 作品合計約50点 | 761 | |
| 「九州中央山地の四季」萩陽一写真展 | 1/10～1/14 | 5 | 萩陽一 | 北は宮崎県諸塚山から南へ椎葉・五家荘・五木を経て球磨郡白髪岳に至る九州中央山地（九州脊梁山地）の四季を通じて撮った山々の風景を中心とした写真約50点 | 658 | |
| 油絵5人展 | 1/16～1/21 | 6 | 蘇畑節子 | 油絵 デッサン F100号5点 F50号5点 F30～F8号20点 | 740 | |
| 緒方麻子展 | 1/23～1/28 | 6 | 緒方麻子 | 人物や風景をモチーフにした作品の展示 F100号約6～7点 F50号約2点 F20号約2点 F6 F4 F3 SM数点 | 763 | |
| 熊本デジカメ倶楽部写真作品展 | 1/30～2/4 | 6 | 熊本デジカメ倶楽部 | 熊本デジカメ倶楽部会員が撮影した県内外の風景や祭り、ポートレート等いろいろなジャンルの写真 | 1,467 | |
| 第28回手でみる造型展 | 2/6～2/12 | 7 | 熊本県文化協会 | 手で触ってみる、そして感じ取っていただく展覧会 出品者は主に県内の彫刻家 造形作家 熊本大学美術科 及び県立盲学校の児童生徒を中心としている | 692 | |
| 漣会日本画展 | 2/14～2/18 | 5 | 漣会 | 日本画家相嶋崇人先生の教室で日本画を学ぶ生徒13名の作品展示発表 | 651 | |
| 崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展 | 2/20～2/25 | 6 | 学校法人君ヶ淵学園崇城大学 | 平面絵画、立体、デザイン作品、映像、写真、インスタレーション等約90点の展示 芸術学部第15期生の卒業展、芸術研究科の第13期生の修了展となる | 922 | |
| 山本悠佳書作展 | 2/27～3/4 | 6 | 山本悠佳 | 漢字4点 仮名2点 漢字仮名交じり 小数字2点 | 503 | |
| 熊本大学教育学部美術科同窓会展 | 3/6～3/11 | 6 | 熊本大学教育学部美術科同窓会 | 絵画、彫刻、デザイン等 約50点 | 479 | |
| 一般社団法人二科会写真部九州・沖縄地区公募展展示会 | 3/13～3/18 | 6 | 一般社団法人二科会写真部熊本支部 | 写真全紙 パネル貼り、額仕上げ 合計約500点 | 1,023 | |
| 中尾和弘個展～阿蘇を描く～ | 3/20～3/25 | 6 | 中尾和弘 | 四季折々に変化する阿蘇の自然を描いた作品約30点を展示 | 1,401 | |
| 第10回輪の会作品展 | 3/27～4/1 | 6 | 輪の会 | 油彩 水彩 版画 水墨画 25点 | 790 | |
| 計 | | 247 | | | 40,914 | |

分館（展示室1・2・3 ギャラリー）

合計

| | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|--|
| | | 629 | | | 164,280 | |
|--|--|-----|--|--|---------|--|

本館・分館 総合計

| | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|--|
| | | 667 | | | 173,631 | |
|--|--|-----|--|--|---------|--|

■収蔵品の概要

熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

- (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品
 - ①彫刻（仏神像など）
 - ②絵画（仏画など）
 - ③工芸品（染織品や能道具、刀剣など）
 - ④書蹟・墨蹟
- (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品
 - ①絵画（御用絵師や文人などの作品）
 - ②工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）
 - ③書蹟・墨蹟
 - ④加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料
- (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料
- (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本の美術史を体系化しうるコレクションの形成を目指す。

- (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料
※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。
※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。
- (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品
- (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
 - ①今西コレクションの近代版画・工芸・人形
 - ②細川コレクションの近代洋画・日本画
 - ③その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画
 - ①近代版画の動向を示す作品
 - ②戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
 - ③今日の美術における版画表現の動向を示す作品
 - ④上記の作品に関連する資料

3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

- (1) フランスの近代絵画
 - ①印象派と 19 世紀フランス絵画
印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19 世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品
 - ②エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）
エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20 世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。
- (2) 西洋版画の系譜の体系化
 - ① 16 世紀から 18 世紀までの古典版画（Old Master Print）
 - ② 19 世紀から 20 世紀前半までの近代版画（Modern Print）
 - ③ 20 世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）
- (3) 近・現代の西洋彫刻
 - ①近代フランスの彫刻
ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品
 - ②現代の彫刻
20 世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品
- (4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

□平成 29 年度美術品収集品目

■購入作品（平成 29 年度）

| | 作品名 | 作者名 | 種別 | 寸法(cm) | 制作年 |
|---|-----|------|--------------|--|--------------------|
| 1 | 争魚 | 堅山南風 | 紙本着色・ 屏風装 | 右隻： 172.7 × 173.2 左隻： 172.7 × 173.2 | 昭和 6 年 (1931 年) |

■寄贈作品（平成 29 年度）

| | 作品名 | 作者名 | 種別 | 寸法(cm) | 制作年 |
|---|---------------|-------|--------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 重要文化財 巴螺鈿鞍 | 不詳 | 木製漆塗螺鈿 | 前輪高 27.0 後輪高 32.0 居木長 42.8 | 鎌倉時代 (13世紀) |
| 2 | 月に梅図屏風 | 伝矢野吉重 | 紙本金地着色 | (各) 167.7 × 361.5 | 江戸時代前期 (17世紀) |
| 3 | 鶏図 | 伊藤若冲 | 紙本墨画 | 92.0 × 29.0 | 江戸時代中期 (18世紀) |
| 4 | 孔雀図 | 福田太華 | 絹本着色 | 160.0 × 67.9 | 江戸時代後期 (19世紀) |
| 5 | 朴侯爵宛書簡 | 徳富蘇峰 | 紙本墨書 | 便箋 1：18.7 × 41.2 便箋 2：26.7 × 19.4 | 昭和 5 ～ 6 年 (1930 ～ 1931) |

■収蔵品の概要

■収蔵品一覧表(平成30年3月31日現在)

| 区 分 | 県 有 美 術 品 | | | | | | | | | 寄 託 品 | | | 合 計 | | | |
|-----------|--------------------|-------------|-------|--------------------|-------------|-------|------------------|-----------|-------|--------------------|-------------|-------|------------------|-----------|-------|-------|
| | 購 入 | | | 寄 贈 | | | 小 計 | | | 28年度 までの 寄 託 | 29年度 寄 託 | 小 計 | 28年度 までの 計 | 29年度 計 | 計 | |
| | 28年度 までの 購 入 | 29年度 購 入 | 小 計 | 28年度 までの 寄 贈 | 29年度 寄 贈 | 小 計 | 28年度 までの 計 | 29年度 計 | 小 計 | | | | | | | |
| 日本 古美術 | 絵 画 | 183 | | 183 | 296 | 3 | 299 | 479 | 3 | 482 | 266 | | 266 | 745 | 3 | 748 |
| | 書 跡 | 201 | | 201 | 177 | | 177 | 378 | | 378 | 158 | | 158 | 536 | | 536 |
| | 彫 刻 | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 28 | | 28 | 29 | | 29 |
| | 工芸(陶磁) | 104 | | 104 | 68 | | 68 | 172 | | 172 | 20 | | 20 | 192 | | 192 |
| | 工芸(その他) | 8 | | 8 | 226 | 1 | 227 | 234 | 1 | 235 | 704 | | 704 | 938 | 1 | 939 |
| | 考 古 | | | | | | | | | | 9 | | 9 | 9 | | 9 |
| | そ の 他 | | | | 5 | | 5 | 5 | | 5 | 6 | | 6 | 11 | | 11 |
| | 計 | 496 | | 496 | 773 | 4 | 777 | 1,269 | 4 | 1,273 | 1,191 | | 1,191 | 2,460 | 4 | 2,464 |
| 日本 近現代 | 油 彩 画 | 116 | | 116 | 418 | 1 | 419 | 534 | 1 | 535 | 16 | | 16 | 550 | 1 | 551 |
| | 版 画 | 275 | | 275 | 596 | | 596 | 871 | | 871 | 4 | | 4 | 875 | | 875 |
| | デッサン | 45 | | 45 | 282 | | 282 | 327 | | 327 | 4 | | 4 | 331 | | 331 |
| | 彫 刻 | 69 | | 69 | 30 | | 30 | 99 | | 99 | 4 | | 4 | 103 | | 103 |
| | 工 芸 | 105 | | 105 | 112 | | 112 | 217 | | 217 | 1 | | 1 | 218 | | 218 |
| | 日本画 | 177 | 1 | 178 | 159 | | 159 | 336 | 1 | 337 | 17 | | 17 | 353 | 1 | 354 |
| | 水彩画 | 16 | | 16 | 105 | | 105 | 121 | | 121 | 6 | | 6 | 127 | | 127 |
| | そ の 他 | 2 | | 2 | 97 | 1 | 98 | 99 | 1 | 100 | | | | 99 | 1 | 100 |
| | 計 | 805 | 1 | 806 | 1,799 | 2 | 1,801 | 2,604 | 3 | 2,607 | 57 | | 57 | 2,656 | 3 | 2,659 |
| 東 洋 | 絵 画 | 10 | | 10 | 1 | | 1 | 11 | | 11 | 1 | | 1 | 12 | | 12 |
| | 書 跡 | 2 | | 2 | 2 | | 2 | 4 | | 4 | | | | 4 | | 4 |
| | 彫 刻 | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 2 | | 2 |
| | 工 芸 | 12 | | 12 | 12 | | 12 | 24 | | 24 | | | | 24 | | 24 |
| | 考 古 | | | | 110 | | 110 | 110 | | 110 | | | | 110 | | 110 |
| | 計 | 24 | | 24 | 126 | | 126 | 150 | | 150 | 2 | | 2 | 152 | | 152 |
| 西 洋 | 油 彩 画 | 10 | | 10 | 3 | | 3 | 13 | | 13 | 3 | | 3 | 16 | | 16 |
| | 版 画 | 214 | | 214 | 56 | | 56 | 269 | | 269 | | | | 269 | | 269 |
| | デッサン | 2 | | 2 | 1 | | 1 | 3 | | 3 | | | | 3 | | 3 |
| | 彫 刻 | 8 | | 8 | 1 | | 1 | 9 | | 9 | | | | 9 | | 9 |
| | 水彩画 | 4 | | 4 | 5 | | 5 | 9 | | 9 | | | | 9 | | 9 |
| | 計 | 238 | | 238 | 66 | | 66 | 303 | | 303 | 3 | | 3 | 306 | | 306 |
| 合 計 | 1,563 | 1 | 1,564 | 2,764 | 6 | 2,770 | 4,327 | 7 | 4,334 | 1,256 | | 1,256 | 5,574 | 7 | 5,581 | |

□平成 29 年度美術品貸出記録 (館蔵品)

※平成 29 年度中に他館に貸し出し、平成 30 年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

| 作家名 | 作品名 | 貸出先 | 展覧会名 | 展覧会会期 |
|--------------|-------------------------|---|--|---|
| モーリス・ド・ヴラマンク | 湖畔 | ソウルアートセンター 山梨県立美術館 ひろしま美術館 北九州市立美術館 静岡市美術館 ブレントラスト | 「ヴラマンク展」 | H29 6/ 3 ~ 8/20 (ソウル) 9/ 2 ~ 10/22 (山梨) 11/ 3 ~ 12/24 (ひろしま) H30 1/ 4 ~ 2/25 (北九州市) 7/28 ~ 9/24 (静岡市) |
| 矢野良勝 | 福羅滝・七越滝図 | 肥後の里山ギャラリー | 熊本の水と緑の風景展Ⅲ 「御用絵師、肥後の山水を描く」 | H29 6/12 ~ 7/15 |
| 矢野派 | 肥後瀑布図 | | | |
| 杉谷雪樵 | 七滝図下絵 (杉谷家画稿) | | | |
| | 菊池川水源図下絵・包み紙 (杉谷家画稿) | | | |
| | 白糸之滝下絵 (杉谷家画稿) | | | |
| | 五老ヶ滝写生図 (杉谷家画稿) | | | |
| | 成道寺写生図 (杉谷家画稿) | | | |
| | 浜町御茶屋写生図 (杉谷家画稿) | | | |
| 平田郷陽 | 姥と金太郎 | 熊本市現代美術館 | 開館 15 周年記念展 「誉のくまもと」 | H29 9/16 ~ 11/26 |
| 葛飾北斎 | 鍾馗図 | あべのハルカス美術館 | 「北斎一富士を超えて一」 | H29 10/ 6 ~ 11/19 |
| 小代焼 | 白濁釉大茶碗 | 九州陶磁文化館 | 特別企画展 「熊本のやぎもの」 | H29 10/ 6 ~ 11/26 |
| | 瓢形茶入 | | | |
| | 香合 | | | |
| | 四猿大皿 | | | |
| | 福寿字文角皿 | | | |
| 松尾焼 | 象嵌宝珠文皿 | | | |
| 網田焼 | 染付兎文長皿 | | | |
| | 染付山水文大鉢 | | | |
| | 染付山水図花生 (福田太華画) | | | |
| 八代焼 | 肩衝茶入 | | | |
| | 象嵌牡丹文扁壺 | | | |
| | 象嵌詩文入硯屏 | | | |
| 海老原喜之助 | 曲馬 | 泉美術館 | 開館 20 周年記念特別展 「佐藤忠良の遺したもの 自作と収集品、教科書の仕事まで」 | H29 10/ 7 ~ 11/12 |

| 作家名 | 作品名 | 貸出先 | 展覧会名 | 展覧会会期 |
|-------|---|--|----------------------|--|
| 松尾敏男 | 南風先生像 | 長崎県美術館 さくら市ミュージアムー荒井 寛方記念館ー 須賀川市立博物館 そごう美術館 砺波市美術館 松坂屋美術館 高崎市タワー美術館 佐久市立近代美術館 産経新聞社 | 「松尾敏男展」 | H30 1/16～ 3/11 (長崎) 3/24～ 5/ 6 (さくら市) 5/12～ 7/ 1 (須賀川市) 9/ 7～ 10/14 (そごう) 10/20～ 12/ 2 (砺波市) 12/ 8～ 12/24 (松坂屋) H31 2/ 2～ 3/24 (高崎市) 4/下旬～ 6/下旬 (佐久市) |
| 大森キミ子 | 雨の遊園地 PROCESS 5 SPACE 時、時の雲 りんごのかおり | 肥後の里山ギャラリー | 「大森キミ子展 ー空と雲と風とー」 | H30 2/26～ 4/ 7 |
| 矢野良勝 | 肥後瀑布図 全国名勝図巻 | 府中市美術館 | 「リアル 最大の奇抜」 | H30 3/10～ 5/30 |
| 東燕斎寛志 | 美人眞焔図 | | | |
| 祇園井特 | 歌妓恵以路図 | | | |
| 川又常正 | 階下遊女図 | | | |
| 米田松洞 | 北山秋景・西山秋景 | | | |
| 横山大観 | 焚火 雲去来 | 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 日本経済新聞社 毎日新聞社 | 「生誕 150年 横山大観展」 | H30 4/13～ 5/27 (東京) 6/18～ 7/22 (京都) |

■購入・寄贈図書目録 [平成 29 年度]

<購入図書> ※備品購入費による

| 書名 | 編・著者名 | 発行所 | 発行年 |
|--------------------------|-----------------|----------|-------|
| 日本史 | | | |
| 新撰太閤記 細川ガラシャ | 歌川豊宣 | | 1886年 |
| 由利公正伝 | 三岡丈夫 | 光融館 | 1916年 |
| 日本美術 | | | |
| 美術商の百年 東京美術倶楽部百年史 | 東京美術倶楽部百年史編纂委員会 | 東京美術倶楽部 | 2006年 |
| 日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記編 11 | 水野敬三郎ほか | 中央公論美術出版 | 2015年 |

<友の会から寄贈された図書>

| 書名 | 編・著者名 | 発行所 | 発行年 |
|------------------|----------|----------|-------|
| 西洋近代の都市と芸術 | 喜多崎親 / 編 | 竹林舎 | 2014年 |
| 日本美術全集 1 日本美術創世記 | | 小学館 | 2015年 |
| 日本美術全集 2 信仰と美術 | | 小学館 | 2015年 |
| 図像学Ⅱ (浄土教・説話画) | 林温 / 著 | 竹林舎 | 2014年 |
| 越前松平家家譜 慶永 1～5 | 福井県文書館 | 中央公論美術出版 | 2010年 |

■委員会等名簿

□熊本県立美術館協議会委員名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

| 氏 名 | 役 職 名 |
|-----------|--|
| 内 堀 公 靖 | 県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長（県立御船高等学校教諭） |
| 浦 田 祐三子 | 前熊本県議会教育警察常任委員会委員長 |
| 河 野 景 治 | 熊本県立美術館友の会世話人 |
| 川 野 智 子 | 県図画工作・美術教育研究会会長（熊本市立吉松小学校長） |
| ◎ 小 林 孝 夫 | 熊本県美術協会会長 |
| 田 浦 かおり | 熊本県 PTA 連合会副会長 |
| 堤 純 子 | 織月酒造株式会社 代表取締役社長 |
| 中 村 賢 次 | 日本画家 崇城大学芸術学部長、美術学科教授 |
| 福 島 絵 美 | 株式会社 熊本放送報道制作局アナウンス部 部長 |
| 藤 井 宥貴子 | 熊本市男女共同参画センターはあもにい館長（有限会社 ミューズプランニング代表取締役） |
| 丸 野 香代子 | 株式会社 談 代表取締役社長 |
| 和 田 仁 | 熊本博物館長 |

（五十音順、◎委員長）

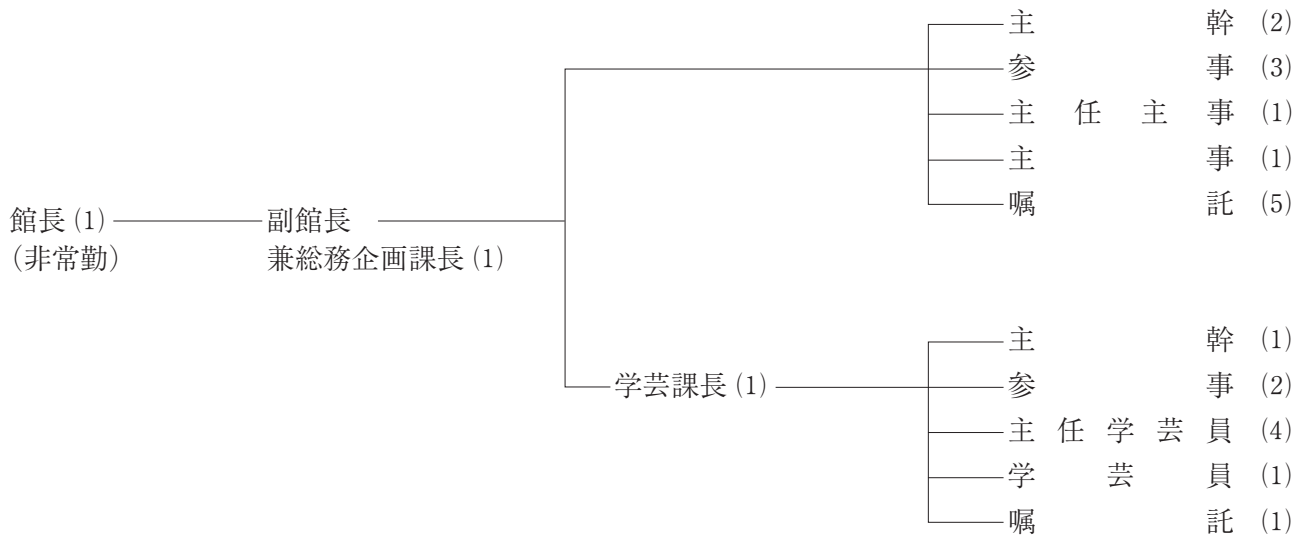
□熊本県立美術館収集委員会委員名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

| 氏 名 | 役 職 名 |
|-----------|---------------|
| ◎ 石 原 昌 一 | 彫刻家、熊本大学名誉教授 |
| 植 野 かおり | 公益財団法人立花家史料館長 |
| 桜 井 武 | 熊本市現代美術館長 |
| 中 西 真美子 | 崇城大学図書館職員 |
| 西 村 勇 晴 | 北九州市立美術館長 |
| 林 千 寿 | 八代市立博物館学芸課参事 |
| 松 本 誠 一 | 佐賀県立美術館館長 |
| 森 山 秀 子 | 久留米市美術館副館長 |

（五十音順、◎委員長）

□熊本県立美術館の機構及び職員数（平成30年3月31日現在）



□美術館職員名簿（平成30年3月31日現在）

| 氏名 | 職名 | 氏名 | 職名 |
|-------|------------|-------|-------|
| 田崎 龍一 | 館長（非常勤） | 石丸美穂子 | 参事 |
| 安倍信一郎 | 副館長兼総務企画課長 | 林田 龍太 | 主任学芸員 |
| 四元 正明 | 主幹 | 金子 岳史 | 主任学芸員 |
| 川口 建明 | 主幹 | 才藤あずさ | 主任学芸員 |
| 富永 文昭 | 参事 | 宮川 聖子 | 主任学芸員 |
| 唐木 淳至 | 参事 | 岡田真梨子 | 学芸員 |
| 中村 幸宏 | 参事 | 弓削 孝子 | 嘱託 |
| 福島由佳里 | 主任主事 | 田川美由紀 | 嘱託 |
| 杉本 美紀 | 主事 | 深川恵美子 | 嘱託 |
| 村上 哲 | 学芸課長 | 坂本 眞紀 | 嘱託 |
| 有木 芳隆 | 主幹 | 上島 久美 | 嘱託 |
| 山田 貴司 | 参事 | 高森 莊子 | 嘱託 |

■その他

□熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。平成27年は、設立40周年となり、設立40周年記念事業や祝賀会などを開催した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを寄贈し調査研究等に貢献してきている。会員は、「会員証」で、現在は県立美術館をはじめとする県内7館において開催される展覧会を各1回鑑賞することができる。また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

特典

- ① 次の美術館に無料入場できる。(但し、1展覧会1回。展示替の場合はもう1回入場できる。) 熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館、島田美術館、芦北町立星野富弘美術館
- ② 熊本県立美術館の展覧会図録の開催期間内購入 2割引。
- ③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室 割引有。
- ④ 友の会企画の国内・海外旅行に参加できる。

会員数 (平成30年2月現在) 544名(会員証発行:662枚)

| | | | | |
|-----|------|----|-----------|--------------------|
| A会員 | 78組 | 会費 | 10,000円 | (会員証2枚 本人1枚、家族用1枚) |
| B会員 | 420名 | | 5,000円 | (会員証1枚 本人) |
| C会員 | 10社 | | 30,000円以上 | (会員証5枚 会社名義) |
| D会員 | 36名 | | 3,000円 | (学生会員) |

活動状況

- ・機関誌「View」4回発行(美術館との共同編集)
- ・図書購入・寄贈
『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記編13』、『戦後美術盛衰史』、『藤田嗣治作品をひらく:旅・手仕事・日本』、『松平春嶽全集』(全4冊)、『子爵由利公正伝』、『藩史大辞典 第7巻 九州編』(新装版)。計9冊
- ・海外美術館巡り 「エルミターージュと北欧の美術館巡りの旅」 ・期間:10月4日~13日(9泊10日)
エルミターージュ美術館(サンクトペテルブルク)と北欧の美術館(オスロとストックホルム)。
- ・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ(A4両面カラー)の作成配布

平成29年度役員

| | |
|--------|---|
| 代表世話人 | 福田 稠 |
| 副代表世話人 | 松木良介、河島一夫 |
| 監 事 | 池田耕一、河野景治 |
| 世 話 人 | 田崎龍一、坂田燦、河島美智奈、二子石義之、高田浩子、村上了一、小坂肇、林田勉、木下修、大森健弘、森本清子、平井勝典、井上正敏、岡田直幸、中熊則子、長崎健一、有木芳隆、唐木淳至 |
| 名誉世話人 | 樋口欣一、芹川光行 |

□美術館案内

熊本県立美術館本館 Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地：熊本市中央区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「交通センター」で下車、城彩苑内を通過して徒歩15分。または「交通センター」で熊本城周遊バス（しろめぐりん）に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。

市電／「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR／「熊本駅」から熊本城周遊バス（しろめぐりん）に乗車、「熊本城二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。「上熊本駅」からタクシーで10分。

熊本空港／空港バスで「交通センター」へ。「交通センター」から徒歩15分

または交通センターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場／二の丸駐車場（有料）、三の丸第2駐車場（有料）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

熊本県立美術館分館 Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地：熊本市中央区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間：火曜～金曜／午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

土日祝日・休日／午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「市役所前」下車、徒歩5分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館横」下車

市電／「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

インターネットアドレス

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



平成 29 年度 熊本県立美術館年報

発行日 平成 30 年 9 月 25 日

発行者 熊本県立美術館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸 2 番

TEL (096) 352-2111 FAX (096) 326-1512

印刷所 株式会社 協和印刷

発行者：熊本県
所 属：熊本県立美術館
発行年度：平成 30 年度